

新型コロナウイルス感染拡大の影響および感染予防のために、2020 年度前期講座・ワークショップ (WS) はすべて中止しました。

2020 年度後期 開設講座・ワークショップ (WS) 一覧		2020 年 9 月～2021 年 3 月	
No.	講座・WS 名	テーマ	講師名 (敬称略)
1	美術 I	祈るかたち—古仏との対話	多摩美術大学教授 青木 淳
2	自然 I (川崎学)	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京・・・	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか
3	現代事情	日韓関係の過去・現在・未来—いかに過去を包みしめ、未来を切り開くのか	東京大学教授 木宮 正史ほか
4	エクセレントⅢ	海の文明史—日本列島とその近海を中心に	日本大学教授 関 幸彦ほか
5	国際関係	融解する世界秩序—不平等・ポピュリズムから変調の原因を探る	成蹊大学教授 遠藤誠治
WS-1	国際関係	世界秩序混迷の原因を探る—欧米のポピュリズムを中心に	成蹊大学教授 遠藤誠治
6	いのちの科学	広がる生命科学の世界	国立科学博物館館長 林 良博ほか
WS-2	科学	生物学への誘い	東京工業大学名誉教授 星 元紀 洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長 森重行敏ほか
7	日本の伝統芸能	伝統芸能講座 緊急企画 日本の伝統芸能は再生できるか	東京大学名誉教授 浜野 洋三ほか
8	新しい科学の世界 I	新しい科学の世界	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間友博ほか
9	自然 II (川崎学)	つばさに観る自然の姿	明治学院大学教授 武川正吾ほか
WS-3	社会福祉	様々な領域からみる社会福祉の課題—コロナウイルスの影響をふまえて	明治大学名誉教授 吉村武彦ほか
10	日本史	ヤマト王権の歴史と古墳時代	筑波大学名誉教授 根本 誠二
WS-4	日本史	『日本霊異記』から歴史をひもとく	樹木医 石井 誠治ほか
11	みどり学 I	みどり学 I—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	元慶応義塾大学教授 平野 昭
23	音楽 II	フランス革命期を生きたベートーヴェン	樹木医 石井 誠治ほか
12	みどり学 (フレッシュ)	みどり学 (フレッシュ)	東京大学名誉教授 小森 陽一
13	文学	宮澤賢治の童話を読みなおす	日本大学講師 伊藤 博
WS-5	文学	現代文学に描かれた自己と他者	日本工業大学名誉教授 波多野 純ほか
14	建築と都市	江戸の町づくりと庶民の暮らし	上智大学名誉教授 私市正年ほか
15	エクセレント I	世界を旅する @ マグレブの国々 (モロッコ、アルジェリア、チュニジア) ・ツアー	産業遺産学会理事・元会長 伊東 孝 元川崎市教員、郷土史家 小島康宏 ほか
16	学び・歩くかわさき (川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう ⑨	日本地名研究所研究員 菊地 恒雄ほか
WS-6	まち歩き (川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—地図を読む楽しさ	国立社会保障・人口問題研究所室長 西村幸満ほか
17	政治・社会	少子高齢化の政治・社会学—コロナ時代を踏まえて	
WS-7	政治・社会	休 止	
18	交流館協力<歴史>	江戸時代の道と旅	交通史学会会長 山本光正
19	音楽Ⅲ	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part28	東京交響楽団メンバーほか
WS-8	芸術	油絵を描く—技法を基本から学ぶ	NHK 文化センター講師 佐藤道子
20	環境とみどり	SDGs 時代の環境・みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
WS-9	環境とみどり	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
21	人間学	人間学再論—生老病死の思想	東京大学名誉教授 竹内整一ほか
WS-10	人間学	『平家物語』の人間像 (後期)	東京大学名誉教授 竹内整一
22	音楽 I	モーツァルトとベートーヴェン 2020 年	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏ほか
WS-11	音楽・芸能	13 代目團十郎誕生—團十郎から観る歌舞伎史	白百合女子大学講師 安富 順ほか
24	宮前<歴史>	休 止	
25	世界史	中央ユーラシアの歴史 (第 1 部)	東京大学名誉教授 小松久男ほか
26	みどり学 II	みどり学 II—木や草が生活とつながる面白さを極める	樹木医 石井 誠治ほか
27	山の自然学	山の自然学	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
28	美術 II	バロック時代の美術	学習院大学名誉教授 高橋裕子
WS-12	美術 I・II	バロック美術の特色とその歴史的意義	青山学院大学教授 高橋達史
29	エクセレント II	日本の食文化の特色とその魅力—「和食」の形成と展開	京都府立大学客員教授 原田信男ほか
30	経済	市場経済の原点と現状	京都大学名誉教授 間宮陽介
WS-13	経済	日本経済の再構築に向けて—人口減少経済への対応を生産性向上から考える	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
31	映像・メディア	懐かしの名作を語る—この人に会いたい、日本の未来を語る	元 NHK プロデューサー 林 勝彦ほか
32	新しい科学の世界 II	未知に挑んだ科学者たち	総合研究大学院大学名誉教授 池内 了ほか
33	歴史 (川崎学)	川崎に生きた人々 I—一人々の願いを実現しようとした人々	戦国史研究会会員 中西望介ほか
101	短期集中	「松本清張」で読む昭和史	放送大学教授 原 武史
102	短期集中	現代日本の官僚	学習院大学教授 藤田 由紀子
201	子育て支援	0 歳～6 歳・子育ての輪 (パートⅢ) 子どもが安心して育つ環境を見直そう	子ども相談室「モモの部屋」主宰、心理カウンセラー 内田 良子ほか
301	連携 (昭和音大)	モーツァルトとドン・ジョヴァンニ	昭和音楽大学教授 小畑 恒夫ほか
302	連携 (アジア航測)	地震による災害から命を守るには	東京大学生産技術研究所教授 目黒公郎ほか

美術I講座

講座 1	祈るかたち—古仏との対話			
	【定員】48名【受講料】2年会員9,200円 1年会員10,300円 聴講生13,600円 資料代400円を含みます			
概要	美術I【時間】第1回～8回は10時30分～12時00分 第9回～第12回は下記各日の「月/日(曜)」をご覧ください(計12回)			
	私が仏教美術の研究に関わりはじめてから、早いもので30年がたっていました。もの言わぬ仏像ですが、私にとってはよき話し相手になってくれた気がします。それは仏像をめぐり一時人と祈りの意味を考える時間でした。本講座では時代の造形を読み解きながら、これまでわが国の仏像がたどったドラマチックな歴史について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。後半は、これまで私が調査に関わるなどした思い出に残る地方の仏像や像内納入品についての話をさせていただきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(月)	高津市民館 大会議室 (NOCTY 2 12階)	仏像以前～仏教伝来—渡来人と新しい信仰の世界	多摩美術大学教授 青木 淳
2	10/5(月)		アジアの中の東大寺・唐招提寺—一行基・良弁・鑑真—	
3	10/26(月)		入唐僧の時代—最澄・空海が見た中国	
4	11/9(月)		末法の世と浄土教の世界—平等院と不安な時代	
5	11/30(月)		運慶と快慶の時代1—南都焼討ちと鎌倉ルネサンス	
6	12/7(月)		運慶と快慶の時代2—鎌倉時代の信仰と造形	
7	12/14(月)		仏像の知られざるなにか(×線調査・像内納入品のことなど)	
8	1/25(月)		古仏と対話する1 東北・関東：福島・大悲山の仏像群のことなど	
9	2/22(月) 9:20-10:50		古仏と対話する2 中部・東海：愛知・西光寺地蔵菩薩像のことなど	
10	2/22(月) 11:00-12:30		仏像修復で新たにわかった「ひと・もの・こと」(ゲスト:中村彫刻 中村恒克)	
11	3/8(月) 9:20-10:50		古仏と対話する3 近畿・中国：京都・遣迎院阿弥陀如来像のことなど	
12	3/8(月) 11:00-12:30		古仏と対話する4 四国・九州：高知・金林寺薬師如来像のことなど	

受講登録者 50名 (男性 23名 女性 27名) 出席者総数 532名

自然I(川崎学)講座

講座 2	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京...				オンライン併用
	【定員】50名(うち会場定員35名、オンライン受講15名)【受講料】2年会員10,050円 1年会員11,150円 聴講生14,450円(資料代450円、野外学習安全費用800円を含みます。)				
概要	自然I(川崎学)【時間】座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分予定(計12回)				
	神奈川を中心に地形学散歩をし、大地の語る声や、自然の心に耳を傾ける。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/28(月)	川崎市生涯学習プラザ	大地の声を聞く耳と、地形を見る目を養おう	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫	
2	10/5(月)	早稲田の森と非対称谷	武蔵野台地と台地を開析する谷の特徴は		
3	10/12(月)	川崎市生涯学習プラザ	2019年台風19号による多摩川下流部右岸側の浸水地帯はなぜ浸水したのか	帝京平成大学准教授 理学博士 小森次郎	
4	10/19(月)	2019年台風19号の浸水痕を訪ねる(武蔵小杉から平間)	多摩川下流部右岸側の浸水地帯の地形を探る		
5	10/26(月)	川崎市生涯学習プラザ	テフラが語る箱根火山の過去と未来	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博	
6	11/9(月)	相模原台地	神奈川の大地・台地 相模川がつくった地形	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫	
7,8	11/16(月)	名越切通、まんだら堂やぐら群、お猿島の大切岸	名越切通と三浦層群の地層		
9	11/30(月)	巣鴨、飛鳥山、滝野川	四季折々の江戸。自然の景趣を楽しむ。春は飛鳥山のサクラ、秋は滝野川の紅葉。江戸の行楽地とその立地	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子	
10	12/7(月)	川崎市生涯学習プラザ	武蔵野台地、台地を開析する谷について(オンライン講義)	早稲田大学教授 理学博士 久保純子	
11	12/14(月)		水中音の世界～音で診る地形・環境・生物～	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀	
12	1/18(月)	生田緑地	生田緑地は大地の声を聴くには、川崎ばかりでなく、首都圏でなくてはならないところ。どんな大地の生い立ちを語るのか。	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫	

*9/28(月)10時10分より20分ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者(オンライン受講者も含む)46名(男性26名 女性20名)出席者総数464名

現代事情講座

講座 3	日韓関係の過去・現在・未来—いかに過去を抱きしめ、未来を切り開くのか				オンライン併用
	【定員】71名【受講料】2年会員4,900円 1年会員5,450円 聴講生7,100円(資料代500円を含みます。)				
概要	現代事情【時間】毎回10時30分～12時00分(計6回)				
	日韓は隣国として多くの共通点を抱える。にもかかわらず、違いが目立つ。最大の違いは支配・被支配という歴史の違い、そして政治文化の違いなどである。そうした違いを抱きしめながら、どのように共生・競争の未来を切り開くのかを共に考えてみたい。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/5(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	日韓関係の初期条件：日韓外交正常化交渉をめぐる	東京大学教授 木宮正史	
2	10/12(月)		北朝鮮問題と日韓関係：日朝関係の現状を踏まえて	津田塾大学教授 朴 正鎮	
3	10/19(月)		政府間和解の力学と国民間和解	早稲田大学教授 浅野豊美	
4	10/26(月)		本国・日本社会と在日コリアン	東京大学教授 外村 大	
5	11/16(月)		日韓経済関係の展開：垂直分業から水平的競合・協力へ	アジア経済研究所新領域研究センター長 安倍 誠	
6	11/30(月)		構造変容に直面、「迷走」する日韓関係	東京大学教授 木宮正史	

受講登録者(オンライン受講者も含む)77名(男性62名 女性15名)出席者総数421名

エクセレントⅢ講座

講座 4	海の文明史—日本列島とその近海を中心に				オンライン併用
	【定員】71名【受講料】2年会員9,400円 1年会員10,500円 聴講生13,800円(資料代600円を含みます。)				
概要	エクセレントⅢ【時間】15時00分～16時30分(計12回)				
	古来、「海」は、ヒト・モノ・文化が移動し接触する経路であり、舞台でした。この講義は、日本を自己完結的な国として見るのではなく、「海」をキーワードとするグローバルな視座の中に置くことにより、西洋、東洋、そして日本の歴史の大局を再発見しようとする試みです。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/28(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	古代東アジアの考古学—中国、朝鮮、そして日本を考える	東京大学名誉教授 早乙女 雅博	
2	10/5(月)		古代の東シナ海・日本海世界—琉球そして日本(6世紀～7世紀)		
3	10/12(月)		東アジア史のなかの遣隋使、遣唐使(7世紀～8世紀)	國學院大学名誉教授 横浜市歴史博物館館長 鈴木靖民	
4	10/19(月)		環日本海世界の秩序と変動—渤海国そして日本(9世紀～10世紀)		
5	10/26(月)		イスラム世界の拡大と海のルート(11世紀～16世紀)	東京大学名誉教授 鈴木 重	
6	11/9(月)		元寇を考える—東アジアの新秩序とモンゴル帝国(12世紀～13世紀)	東京大学名誉教授 村井章介	
7	11/16(月)		海を渡る英雄たち、渡海伝説の行方を探る(12世紀～19世紀)	日本大学教授 関 幸彦	
8	11/30(月)		倭寇とは何か—中世倭人伝の世界(15世紀～16世紀)	東京大学名誉教授 村井章介	
9	12/7(月)		世界史のなかの戦国日本—大航海時代とグローバルイズム(15世紀～16世紀)		
10	12/14(月)		イスラムと日本—近世から近代へ(17世紀～20世紀)	東京大学名誉教授 鈴木 重	
11	12/21(月)		東インド圏とオランダの世紀—日蘭貿易の展開(17世紀～19世紀)	鶴見大学教授 石田千尋	
12	1/18(月)		総括 日本国—東西南北、探検と発見の時代	日本大学教授 関 幸彦	

受講登録者(オンライン受講者も含む)74名(男性50名 女性24名)出席者総数751名

国際関係講座

講座 5	融解する世界秩序—不平等・ポピュリズムから変調の原因を探る			オンライン併用
	【定員】71名【受講料】2年会員 9,150円 1年会員 10,250円 聴講生 13,550円 (資料代 350円を含みます。)			
国際関係		【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	イギリスのEU脱退、トランプ政権の成立という2016年ショックから4年経ちました。両者は自由主義世界の中心地からの激震でしたが、それ以外の地域でも世界は大きな困難と不安定に直面しています。その根源にあるのは何なのか、多角的に検討します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(月)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション：変調する世界のどこが問題なのか	成蹊大学教授 遠藤誠治
2	10/12(月)		国と国との力関係：「武力がものをいう世界」の現状	
3	10/19(月)		富と力の源の変化	
4	10/26(月)		第2次世界大戦後世界の「安定」の条件とは何だったか	
5	11/9(月)		深まる不平等の現状を俯瞰する	
6	11/16(月)		なぜ不平等が拡大しているのか	
7	11/30(月)		ポピュリズムの台頭とデモクラシーの危機	
8	12/7(月)		トランプ政権/トランプ現象をどう読み解くのか	
9	12/14(月)		欧州のポピュリズムと復古主義をどう読み解くのか	
10	12/21(月)		中国モデル？：中国の「覇権」はありえるのか	
11	1/18(月)		米欧中以外の世界は何が起こっているのか	
12	1/25(月)		日本の対応：変化する世界の中で日本が取るべき方向	

受講登録者(オンライン受講者も含む) 105名 (男性 82名 女性 23名) 出席者総数 1,102名

国際関係ワークショップ

WS 1	世界秩序混迷の原因を探る—欧米のポピュリズムを中心に ※輪読形式・発表あり			オンライン併用
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに 14,700円 聴講生 15,800円 (資料代 1,500円を含みます。)			
国際関係		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)		
概要	2010年代以後、世界はさまざまな不安定要因を蓄積してきました。その根源にあるのは不平等の拡大とトランプ政権に象徴されるポピュリストの政権の広がりで、このワークショップでは、この2つの要素に着目して、世界の不安定の根源を探ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(月)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション：世界における不平等	成蹊大学教授 遠藤誠治
2	10/12(月)		ポピュリズムとは何か？(1)	
3	10/19(月)		ポピュリズムとは何か？(2)	
4	10/26(月)		ポピュリズムとは何か？(3)	
5	11/9(月)		トランプをうみだすアメリカの事情(1)	
6	11/16(月)		トランプをうみだすアメリカの事情(2)	
7	11/30(月)		トランプをうみだすアメリカの事情(3)	
8	12/7(月)		ヨーロッパのポピュリズム(1)	
9	12/14(月)		ヨーロッパのポピュリズム(2)	
10	12/21(月)		ヨーロッパのポピュリズム(3)	
11	1/18(月)		不平等・政治離れ・ポピュリズムの関連を考える(1)	
12	1/25(月)		不平等・政治離れ・ポピュリズムの関連を考える(2)	

※輪読用資料(下記)2冊。WS時には、他に配付資料あり。

1 『ポピュリズムとは何か』水島治郎著、中公新書、2016年、902円、

2 『ルポ トランプ王国2』金成隆一著、岩波新書、2019年、1,034円

受講登録者(オンライン受講者も含む) 14名 (男性 12名 女性 2名) 出席者総数 158名

いのちの科学講座

講座 6	広がる生命科学の世界			オンライン併用
	【定員】35名【受講料】2年会員 9,400円 1年会員 10,500円 聴講生 13,800円(資料代 600円を含みます。)			
いのちの科学		【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	新型コロナウイルスの感染拡大は、あらためて「人とは?」「いのちとは?」という根本的な問いを投げかけています。講座では、生命の起源をはじめ、ウイルスや進化の歴史、DNAと脳の働き、極地の生物など、多様な角度から「私たちがいのち」を学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(月)	川崎市生涯学習プラザ	人と動物の感染症から考える	国立科学博物館館長 林 良博
2	10/5(月)		ウイルスって何?	国立感染症研究所ウイルス第二部第五室 室長 東京理科大学客員教授 鈴木亮介
3	10/12(月)		アストロバイオロジー、地球外生命体の探査	国立天文台准教授 縣 秀彦
4	10/19(月)		せいめいのれきしと恐竜	国立科学博物館標本資料センター長 真鍋 真
5	10/26(月)		DNA二重らせん構造の発見に至る道	東京理科大学基礎工学部教授 田村浩二
6	11/9(月)		がんゲノム医療の最前線	東京大学講師、工学院大学 前特任教授 水島純子
7	11/16(月)		脳を知ってよい子を育てよう	元NHK解説委員(科学担当)、大正大学客員教授 室山哲也
8	11/30(月)		脳科学からみる自閉スペクトラム症	東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構 准教授 渡部喬光
9	12/7(月)		法律家が見た医療	弁護士、日本科学技術ジャーナリスト会議理事 横浜国立大学講師 中道 徹
10	12/14(月)		温泉と健康—欧州などに学ぶ	信濃毎日新聞特別編集委員 飯島裕一
11	1/18(月)		知られざる北極生物の世界	国立極地研究所名誉教授 神田啓史
12	1/25(月)		南極生物からみる地球環境 (オンライン講義)	国立極地研究所副所長・教授 伊村 智

受講登録者(オンライン受講者も含む) 46名 (男性 30名 女性 16名) 出席者総数 509名

科学ワークショップ

WS 2	生物学への誘い			オンライン併用
	【定員】35名【受講料】2年・1年会員ともに 13,200円 聴講生 14,300円 (資料代を実費徴収いたします。)			
科学		【時間】 毎回 15時00分～17時00分		
概要	生物学は生命あるものたち(生命体・生物)とその営み(生命活動)に関する科学であるが、今世紀は生物学の時代といわれるほどに、驚くべき速さで進展しつつある。本ワークショップは、日々姿を新たにする現代生物学へのいっしょ手引きとして、生物学の基本的な問題に触れながら、生きているとはどういうことなのかを概観したうえで、われわれヒトとはどのような動物であるのかを考察する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(月)	川崎市生涯学習プラザ	生物学という科学 なぜ生物学を学ぶのか、生物学の始まりと発展	東京工業大学 名誉教授 星 元紀
2	10/5(月)		生命と生物 生物と非生物、ウイルス、生物が変えた地球表層、多様にして一様な生物の世界	
3	10/12(月)		細胞の発見 細胞は如何にして発見されたか、細胞の基本構造	
4	10/19(月)		生命活動を支える物質 生体を構成する分子、水という奇妙な物質、高分子	
5	10/26(月)		生命活動を支える化学反応 物質の流れ、エネルギーの流れ、情報の流れ	
6	11/9(月)		生命の連続性1. 生命の誕生と進化 生命の誕生、生物の歴史、進化	
7	11/16(月)		生命の連続性2. 親から子への生命のつながり 細胞の再生産、個体の再生産、性という不思議な現象、老化と死	
8	11/30(月)		生命の連続性3. 氏か育ちか 遺伝、親から子への情報の伝達	
9	12/7(月)		生命の連続性4. 氏か育ちか(続き) 個体の形成、発生に対する環境の影響	
10	12/14(月)		個体の統合と維持 細胞社会としてのわれわれの体、内部環境とその維持、癌、個体の認識	
11	1/18(月)		ヒトという奇妙な動物 ヒトの分類学的な位置、ヒトの辿ってきた道と脳の発達 (オンライン講義)	
12	1/25(月)		ヒトの大繁栄とその影響 農業の開始、農業革命、人口爆発、生命倫理、ヒトは何処に行くのか	

受講登録者(オンライン受講者も含む) 29名 (男性 22名 女性 7名) 出席者総数 324名

日本の伝統芸能講座

講座 7	伝統芸能講座 緊急企画 日本の伝統芸能は再生できるか			
	【定員】48名 【受講料】2年会員 11,150円 1年会員 12,250円 聴講生 15,550円 (資料代 150円を含みます。)			
概要	日本の伝統芸能 【時間】 毎回 13時 30分～15時 00分 (計 12回)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(月)	高津市民館 大会議室 (NOCTY 2 12階)	はじめに 日本の芸能の原点～なぜ人は歌い踊るのか	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	10/5(月)		声のちから～祈りの声、魔除けの声などに日本の芸能の根源をみる	
3	10/26(月)		舞、踊り・日本人の身体と動き～大地を踏みしめる動きは厄払いか	
4	11/9(月)		打ち物の世界 ～太鼓は超自然のエネルギー	
5	11/30(月)		笛、尺八の仲間～神の降臨する音	
6	12/7(月)		雅楽の新しい視点 ゲスト中村仁美(筆策)ほか ★	
7	12/14(月)		コトの仲間～コトは神との交流道具か。神話に登場するコトを巡って	
8	1/25(月)		琵琶三味線の仲間～琵琶法師が残したもの	
9	2/1(月)		琉球芸能の楽しみ ゲスト名嘉ヨシ子、照喜名朝國(予定) ★	
10	2/22(月)		胡弓の仲間～擦る音への好き嫌い	
11	3/8(月)		邦楽の伝統と未来 ゲスト山口賢治、吉原佐知子、野澤佐保子 ★	
12	3/22(月)	生涯学習 プラザ	まとめ 伝統芸能は再生できるのか	
連絡 事項	後期の★の付いている演奏会は受講生のみ鑑賞になります			

受講登録者 44名 (男性 19名 女性 25名) 出席者総数 441名

新しい科学の世界 I 講座

講座 8	新しい科学の世界			
	オンライン併用			
概要	【定員】71名 【受講料】2年会員 9,500円 1年会員 10,600円 聴講生 13,900円 (資料代 700円を含みます。)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	気象災害から命を守る気象情報の活用	気象キャスターネットワーク 気象予報士 岩谷忠幸
2	10/13(火)		異常気象と地球温暖化	
3	10/20(火)		人はどれだけ気温の上昇に耐えるか	国立環境研究所研究員 高倉潤也
4	10/27(火)		40億年間生命をつなげてきた地球内部の活動	東京大学名誉教授 浜野洋三
5	11/17(火)		地球表面で水と空気はなぜ流れる?	法政大学経済学部教授(物理学教室) 藤田貢崇
6	11/24(火)		自動運転でどんな社会が期待できるのか	国際自動車ジャーナリスト 清水和夫
7	12/1(火)		水素燃料電池の可能性	
8	12/8(火)		核融合実験炉「ITER」の建設はどこまで進んだか	サイエンスライター 渋谷 寿
9	12/15(火)		X線で見た宇宙	東京大学名誉教授 牧島一夫
10	1/19(火)		地球内部の進化を探る一核とマントルの境界から	東京大学准教授 河合研志
11	1/26(火)		我々の地球と宇宙への展開	JAXA社友 柳川孝二
12	2/16(火)			JAXA「はやぶさ2」ミッションマネージャ 吉川 真

受講登録者 (オンライン受講者も含む) 77名 (男性 63名 女性 14名) 出席者総数 825名

自然 II (川崎学) 講座

講座 9	つばさに観る自然の姿			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 9,250円 1年会員 10,350円 聴講生 13,650円 (資料代 450円を含みます。)			
概要	自然 II (川崎学) 【時間】 毎回 10時 30分～12時 00分、但し野外学習は移動時間や見学地の状況により多少時間が前後します。(計 12回)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(火)	三浦市 (三浦富士～砲台山)	武山丘陵の秋の昆虫	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎
2	10/6(火)	川崎市生涯 学習プラザ	花と花粉媒介者たちの戦略	元東京大学大学院農学生命科学研究科 特任研究員 北川淑子
3	10/13(火)	町田市	「町田市函師小野路歴史環境保全地域」周辺の観察	
4	10/20(火)	三浦市 (城ヶ島)	多様な海岸での秋の昆虫	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎
5,6	10/27(火)	横須賀市 (観音崎)	観音崎周辺の地形地質をめぐる	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
7	11/24(火)	三浦市 (諸磯～海外町)	三浦半島南端部諸磯～浜諸磯～海外町に記録されている縄文時代～弥生時代～古墳時代～現在における汀線を観察	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間 友博
8,9	12/1(火)	藤沢市	多摩丘陵南西端 えのしま道周辺の地形地質	
10	3/2(火)	川崎市生涯 学習プラザ	神奈川県域に残されていた縄文海進最盛期の汀線高度を知る	神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員 田口公則
11	3/23(火)	川崎市生涯 学習プラザ	磯の環境とユニークな生物たち	NPO 法人ディスカバーブルー 寺西聡子
12	3/30(火)	葉山町 (芝崎)	相模湾西部真鶴半島の磯の生物観察	

※野外学習についての連絡等は、開講直前に別途連絡。

受講登録者 (オンライン受講者も含む) 40名 (男性 15名 女性 12名) 出席者総数 261名

社会福祉ワークショップ

WS 3	様々な領域からみる社会福祉の課題—コロナウイルスの影響をふまえて ※講義形式・ワークショップ形式			
	【定員】30名 【受講料】2年会員 4,400円 1年会員 4,950円 聴講生 6,600円 (資料代を実費徴収)			
概要	福祉の意味とは何か、現在どのように使われているか、子ども、障がいのある人、行政の役割や地域で住民の果たす役割、高齢者の福祉の具体的なあり方など、社会福祉の多様な領域を講義とワークショップ形式を組み合わせ学習します。また、それぞれの領域でコロナウイルス感染拡大の影響をどのように受けているのかについてもお話しいたします。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	子どもにとっての福祉とは—虐待や里親から捉えなおす	明治学院大学専任講師 三輪清子
2	10/27(火)		障がいのあるひとにとっての福祉とは—精神保健福祉を中心に	明治学院大学准教授 平澤恵美
3	11/17(火)		高齢者福祉はどのように行われているのか コロナの影響は (オンライン講義)	尚美学園大学専任講師 高橋幸裕
4	11/24(火)		認知症の方と暮らしやすいまちづくりに向けて (オンライン講義)	明治学院大学准教授 金 圓景明
5	12/1(火)		社会福祉を支える行政のあり方と計画づくりを学ぶ	治学院大学教授 和気康太
6	12/8(火)		福祉はどのように語られているか—社会福祉の仕組みと諸領域	明治学院大学教授 武川正吾

受講登録者 10名 (男性 5名 女性 5名) 出席者総数 51名

日本史講座

講座 10	ヤマト王権の歴史と古墳時代			オンライン併用
	【定員】150名【受講料】2年会員 9,400円 1年会員 10,500円 聴講生 13,800円 (資料代 600円を含みます。)			
	日本史 【時間】 毎回 9時45分～11時15分 (計12回)			
概要	今年、『日本書紀』が完成してから1300年の記念の年である。3世紀から7世紀前半の「ヤマト王権の歴史と古墳時代」を歴史学と考古学から考える。中国正史から卑弥呼や倭の五王の実像を探り、『古事記』『日本書紀』から継体天皇を含む古代王権を考察する。各時期における古墳の展開や首長居館の実態、半島から渡来した技術のありさま、埴輪の意味などを解明していきたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(火)	川崎市 中原市民館	ヤマト王権の成立と『古事記』『日本書紀』	明治大学名誉教授 吉村武彦
2	10/13(火)		『魏志倭人伝』と卑弥呼 - 3世紀の倭国	
3	10/20(火)		倭の五王とワカタケルの時代 - 5世紀の倭国	
4	11/10(火)		継体朝の成立 - 6世紀の倭国	
5	11/24(火)		卑弥呼誕生の背景 - 2～3世紀の女王墓	千葉県立房総のむら 主任上席研究員 白井 久美子
6	12/8(火)		古墳時代前期の居館跡 - 4世紀の豪族居館と古墳	
7	12/15(火)		前方後方墳の展開 - 3～4世紀の東国	
8	1/19(火)		倭の五王の時代の渡来文化 - 5世紀の技術革新 (オンライン講義)	
9	2/2(火)		埴輪祭祀に見る6世紀の東西日本 (オンライン講義)	
10	2/23(火)		前方後円墳の終焉 - 6世紀末の大型古墳 (オンライン講義)	
11	3/9(火)		東日本の飛鳥時代 - 7世紀前半の関東地方を中心に (オンライン講義)	
12	3/23(火)		女性天皇の誕生と飛鳥時代 - 7世紀の倭国	

受講登録者 (オンライン受講者も含む) 139名 (男性 108名 女性 31名) 出席者総数 1,399名

日本史ワークショップ

WS 4	『日本霊異記』から歴史をひもとく			※グループ発表あり	オンライン併用
	【定員】35名【受講料】2年会員・1年会員ともに8,400円 聴講生 9,500円 (資料代 700円を含みます。)				
	【ワークショップ】日本史 【時間】 毎回 13時15分～15時15分 (計7回)				
概要	『日本霊異記』(以下、『霊異記』と表記します)は、奈良時代から平安時代に移りゆく時代において、仏教はどのようにあるべきかを問いつつ奈良薬師寺の僧景戒が編纂した、日本で最初の仏教説話集です。仏教書の一つですが、仏像や仏教者へのまなざしだけでなく、日常生活での夫婦、父子、母子をめぐる生活なども題材にして、変化の激しい時代において古代の人々がかかっていた生きたるべきかを説き明かしています。そして、『日本書紀』や『続日本紀』をはじめとする六国史(正史や勅撰の史書ともいいます)などの日本古代史の基本テキストでは知り得ない、もう一つの政治・社会や文化をめぐる生き生きとした世界を見いだすことができます。このひもときを、受講の方々とともに進めたいと思います。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/13(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	『霊異記』という「史料」から歴史をひもとくことの楽しさとむずかしさを考えます。(オンライン講義)	筑波大学名誉教授 根本誠二	
2	11/10(火)		仏像に願いをこめて: 中巻第28縁 (オンライン講義)		
3	11/17(火)		恋することのむずかしさ: 中巻第13縁		
4	12/15(火)		建物を小さくすることのこわさ: 下巻第36縁 (オンライン講義)		
5	1/19(火)		高僧名僧へのまなざし: 中巻第7縁 (オンライン講義)		
6	2/2(火)		母子の葛藤(かつとう): 中巻第3縁 (オンライン講義)		
7	3/23(火)		『霊異記』から何をひもとくことができるかを考えます。		

『霊異記』テキスト―出雲路修校注『日本霊異記』(新日本古典文学大系 30、岩波書店、1996年)
第2回から第6回までは、一つの説話をとりあげて、味読。関係史料・参考文献については、適宜、資料を配布して紹介。
参考書 - 講談社学術文庫『日本霊異記 全訳注』全3冊。受講生による発表と質疑を入れたゼミ形式。
受講登録者 (オンライン受講者も含む) 19名 (男性 15名 女性 4名) 出席者総数 124名

みどり学 I 講座

講座 11	みどり学 I ー身近な自然に興味を持ち親しみを深める				オンライン併用
	【定員】71名【受講料】2年会員 9,300円 1年会員 10,400円 聴講生 13,700円 (資料代 500円を含みます。)				
	みどり学 I 【時間】 講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分、 ただし11/17はA班10時30分～12時00分、B班13時30分～15時00分予定 (計12回)				
概要	みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1	9/29(火)	川崎市生涯 学習プラザ	フィヨルド北・南、ノルウェーとニュージーランドのみどり学	A・B班実施	樹木医 石井誠治
2,3	10/6(火) 10/13(火)	昭和記念公園	イエローキャンパス咲く昭和記念公園の秋	A班実施・B班休み B班実施・A班休み	
4,5	10/20(火) 10/27(火)	神代植物公園	生物多様性センターや水性植物園を楽しむ	A班実施・B班休み B班実施・A班休み	
6	11/17(火)	田園調布から 多摩川台公園	多摩川下流部に祭られた豪族たちの御霊に合掌	A班午前 ・B班午後実施	
7	11/24(火)	川崎市生涯 学習プラザ	ガラパゴスの生物の進化と保全	A・B班実施	
8,9	12/1(火)	砧公園	歴史を感じさせる大木と珍木たち	A班実施・B班休み	横浜国立大学准教授 倉田薫子
10	12/8(火)	川崎市生涯 学習プラザ	彩雪の不思議: 雪を赤や緑に染める小さな植物	A・B班実施	森林インストラクター 武部 令
8,9	12/15(火)	砧公園	歴史を感じさせる大木と珍木たち	B班実施・A班休み	森林インストラクター 武部 令
11	1/19(火)	川崎市生涯 学習プラザ	神代桜と田木・畑木の過去・現在・未来	A・B班実施	元日本花の会特任研究員 和田博幸
12	1/26(火)	川崎市生涯 学習プラザ	江戸が決めた日本の桜の美しさの不思議	A・B班実施	樹木医 石井誠治

※9/29(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
受講登録者 (オンライン受講者も含む) 69名 (男性 33名 女性 36名) 出席者総数 715名

みどり学 (フレッシュ) 講座

講座 12	みどり学 (フレッシュ)				オンライン併用
	【定員】40名【受講料】2年会員 9,100円 1年会員 10,200円 聴講生 13,500円 (資料代 300円を含みます。)				
	みどり学 (フレッシュ) 【時間】 講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分 (計12回)				
概要	みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的とした講座です。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1	10/6(火)	川崎市生涯 学習プラザ	小さなアブラムシと大きな木の話	A班実施	森林インストラクター 武部 令
2	10/13(火)		わかりやすい生態学基礎編 1(生態学的な考え方の特徴を学ぶ)	元麻布大学教授 高槻成紀	
3	10/20(火)		わかりやすい生態学基礎編 2(森林と草原を比較する)		
4	10/27(火)	蜂蜜を作るハチと蜂蜜を作らないハチ	森林インストラクター 武部 令		
5,6	11/17(火)	葛西臨海公園	実りの色彩と春花の準備(花芽のある木とない木の違い)	A班実施	樹木医 石井誠治
7	11/24(火)	川崎市生涯 学習プラザ	巨樹が生き続けるための台風との折り合いの付け方		
8,9	12/1(火)	東御苑	果樹古品種園や二の丸雑木林を楽しむ		
10	12/15(火)	川崎市生涯 学習プラザ	わかりやすい生態学基礎編 3(シカと植物の関係を学ぶ)	A班実施	元麻布大学教授 高槻成紀
11,12	3/16(火)	こどもの国	圧倒的なツバキの品種と咲き始めのサクラ散策	A班実施	森林インストラクター 武部 令

※本講座は、アカデミーで初めてみどり学を学ぶ方や、初心に帰って学び直しをしたい方に向けた内容。
※10/6(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
受講登録者 (オンライン受講者も含む) 29名 (男性 10名 女性 19名) 出席者総数 296名

文学講座

講座 13	宮澤賢治の童話を読みなおす		2/3より オンライン併用	
	【定員】71名 【受講料】2年会員 9,050円 1年会員 10,150円 聴講生 13,450円 (資料代 250円を含みます。)			
	文学	【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	『注文の多い料理店』という宮澤賢治生前唯一の童話集を中心に、その文学的特質をとらえ直す			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(水)	川崎市生涯学習プラザ	『注文の多い料理店』序	東京大学名誉教授 小森陽一
2	10/7(水)		「どんぐりと山猫」	
3	10/28(水)		「狼森と筑森、盗森」	
4	11/4(水)		「注文の多い料理店」	
5	11/25(水)		「鳥の北斗七星」	
6	12/2(水)		「水仙月の四日」	
7	12/23(水)		「山男の四月」	
8	1/27(水)		「かしはばやし」	
9	2/3(水)		「月夜のでんしんばしら」	
10	3/3(水)		「鹿踊りのはじまり」	
11	3/10(水)		「雪渡り」	
12	3/24(水)		「やまなし」	

※『宮澤賢治全集8』ちくま文庫、各回の作品を事前に読んでご参加いただければ、より深くご理解いただけます。
受講登録者(オンライン受講者も含む)70名(男性21名 女性49名)出席者総数691名

文学ワークショップ

WS 5	現代文学に描かれた自己と他者		※講義の後に討論あり	
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに6,850円 聴講生7,950円 (資料代250円を含みます。)			
	【ワークショップ】 文学	【時間】 毎回 13時00分～15時00分 (計7回)		
概要	デビュー作から現在に至るまで旺盛な創作活動を展開している作家の代表的な小説を取り上げます。その小説を読むことで、現代社会における様々な人間関係の在り様について考えることになるはず。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(水)	川崎市生涯学習プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	10/14(水)		黒井千次『時間』 —現在では、企業の中堅サラリーマンである「彼」とメーデー当日に逮捕、起訴された「三浦」。二人の間に流れる戦後の時間について考える。	日本大学講師 伊藤 博
3	10/28(水)		古井由吉『杏子』 —女子大生「杏子」の精神の回復はあるのか。「杏子」との関係における「S」というイニシャルの意味を探究する。	
4	11/11(水)		角田光代『幸福な遊戯』 —疑似家族ともいえる男性2人と女性1人の共同生活。その生活形態の意味と意義を問う。	
5	11/25(水)		三島由起夫『金閣寺』 —金閣寺放火事件を題材にした三島の代表作『金閣寺』における「金閣」の表象について考察する。	
6	12/9(水)		川上弘美『センセイの鞆』 —高校時代の恩師「センセイ」と「わたし」が距離を取りながら過ぎ行く日々。鞆の中には何が入っているのか。	
7	12/23(水)		西村賢太『暗渠の宿』 —芝公園内の六角堂で凍死した私小説作家藤澤清造に深く傾倒し続ける「私」の生の修羅場を読み解く。	

ガイダンスには講師は出席しません。

受講登録者(オンライン受講者も含む)14名(男性8名 女性6名)出席者総数93名

建築と都市講座

講座 14	江戸の町づくりと庶民の暮らし		オンライン併用	
	【定員】35名 【受講料】2年会員 9,300円 1年会員 10,400円 聴講生 13,700円 (資料代 500円を含みます。)			
	建築と都市	【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	江戸の町づくりと庶民の暮らしを、建築史、考古学、美術史、服飾史などさまざまな角度からみてゆきます。さらに、視野を江戸四宿(品川・千住・板橋・内藤新宿)、近郊農村、さらに長崎にまで広げ、外から見た江戸についても考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/14(水)	川崎市生涯学習プラザ	江戸の町づくりと都市施設	日本工業大学名誉教授 波多野 純
2	10/21(水)		江戸庶民の住まい	
3	10/28(水)		シーボルトの模型から探る長崎の町家	日本工業大学助手 野口憲治
4	11/4(水)		寛永期の絵画史料にみる装いの新潮流	武蔵大学人文学部教授 丸山伸彦
5	11/11(水)		遺跡にみる江戸のまちと庶民生活	早稲田大学人間総合研究センター研究員・江戸都市史研究家 後藤宏樹
6	11/18(水)		近世考古学の歩みと江戸	練馬区立石神井公園ふるさと文化館 館長 小林 克
7	11/25(水)		千住宿の復原と『五街道分間延絵図』	日本工業大学名誉教授 波多野 純
8	12/2(水)		遺跡からみた江戸の拡大(四谷～内藤新宿～淀橋)	新宿区文化観光産業部文化観光課 文化資源主査・学芸員 榎木 真
9	12/9(水)		文様集と技法書にみる服飾の大変革	武蔵大学人文学部教授 丸山伸彦
10	12/16(水)		徳丸・粕谷家の保存修復と関東地方の民家	波多野純建築設計室 天木詠子
11	1/20(水)		出土資料からみる庶民の飲食	練馬区立石神井公園ふるさと文化館 館長 小林 克
12	1/27(水)		江戸の橋と盛り場	日本工業大学名誉教授 波多野 純

受講登録者(オンライン受講者も含む)43名(男性23名 女性20名)出席者総数465名

エクセレントI講座

講座 15	世界を旅する②マグレブの国々(モロッコ、アルジェリア、チュニジア)・ツアー		オンライン併用	
	【定員】71名 【受講料】2年会員9,400円 1年会員10,500円 聴講生13,800円(資料代600円を含みます。)			
	エクセレントI	【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	マグレブとは、アラビア語で日の沈む地を意味し、モロッコ、アルジェリア、チュニジアを指します。このマグレブの国々は、カルタゴやローマ帝国、アラブ・イスラーム教徒、スペインやフランスなどの支配を受けながらも、それらを融合させることによって独特の歴史と文化を発展させました。本講座で、こうした文明の十字路としてのマグレブの歴史を学び、旅してみよう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(水)	川崎市生涯学習プラザ	マグレブの国々と地域の特徴—自然・歴史・文化の概要—	上智大学名誉教授 私市正年
2	10/7(水)		古代のマグレブ①カルタゴ帝国、ポエニ戦争、ヌミディア王国(オンライン講義)	東京学芸大学名誉教授 栗田伸子
3	10/14(水)		古代のマグレブ②ローマ帝国と聖アウグスティヌスの世界	上智大学名誉教授 豊田浩志
4	10/21(水)		アラブ・イスラーム教徒による征服とベルベル帝国の時代	上智大学名誉教授 私市正年
5	10/28(水)		サハラが結ぶ南北交流—金・塩・黒人奴隷の交易の光と影	
6	11/4(水)		フランスによる植民地支配の歴史(オンライン講義)	アジア経済研究所・研究員 渡邊祥子
7	11/11(水)		独立後の国家と政治—王制、社会主義、リベラル共和制の3つの国の歩み方	上智大学名誉教授 私市正年
8	11/18(水)		マグレブの国々の経済と産業	千葉商科大学准教授 吉田 敦
9	11/25(水)		マグレブ都市の歴史と特徴—フェスとアルジェの比較から考える	筑波大学准教授 松原康介
10	12/2(水)		マグレブの文学と芸術—カミユからフランス語マグレブ文学へ	マグレブ文学研究者・博士 石浜裕子
11	12/9(水)		世界遺産とマグレブ文化の旅—23の世界遺産に広がる多様な文明世界	上智大学名誉教授 私市正年
12	12/16(水)		「アラブの春」とマグレブの国々の現在	

以下の本は講義の理解に役立ちます。私市正年『アルジェリアを知るための62章』(明石書店)；私市正年『モロッコを知るための65章』(明石書店)； 鷹木恵子『チュニジアを知るための60章』(明石書店)；私市正年『サハラが結ぶ南北交流』(山川出版社)

受講登録者(オンライン受講者も含む)56名(男性30名 女性26名)出席者総数589名

学び・歩くかわさき(川崎学)講座

講座 16	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑨			オンライン併用
	【定員】50名 【受講料】2年会員 9,800円 1年会員 10,900円 聴講生 14,200円 (資料代 500円、野外学習安全費用 500円を含む)			
学び・歩くかわさき(川崎学) 【時間】座学は13時00分～14時30分、野外学習は13時00分～15時00分(計12回) 10/7のみ講座時間が13時30分～15時00分				
概要	多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然学的・人文学的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。後期は、時代的には古代～近現代で、見学対象分野は寺社、インフラ、交通施設などについて学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(水)	川崎市生涯学習プラザ	鎌倉幕府滅亡と分倍河原の戦い	府中市郷土の森博物館 館長 学芸員 小野一之
2	10/14(水)	野外学習	甲州街道府中宿から鎌倉街道に沿って	
3	10/21(水)	川崎市生涯学習プラザ	中世から近世の稲毛荘と宮内	元宮内郷土史フォーラム 郷土史家 野口英雄 小島康宏
4	10/28(水)	野外学習	稲毛本荘宮内の史跡を訪ねる 春日の杜をめぐる	
5	11/4(水)	川崎市生涯学習プラザ	中原御殿と平塚	平塚市博物館 学芸員 早田旅人
6	11/11(水)	野外学習	麻生区の古道を歩く	元大山街道ふるさと館副館長 對馬醇一
7	11/18(水)	川崎市生涯学習プラザ	砂利輸送からベッドタウンの通勤輸送へー東急田園都市線と多摩川・川崎	法政大学講師 産業遺産学会理事 中川 洋
8	11/25(水)	野外学習	二子玉川駅(駅の変化と現在)ー二子橋(鉄道併用橋時代と現在)ー玉電砒線廃線	
9	12/2(水)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川下流の橋	日本ICOMOS「技術遺産小委員会」主査 産業遺産学会理事(元会長) 伊東 孝
10	12/9(水)	野外学習	横須賀線多摩川橋梁、新幹線橋梁、丸子橋、東横線多摩川鉄橋をめぐる	
11	2/17(水)	川崎市生涯学習プラザ	横須賀製鉄所から海軍工廠へーその変遷と歴史遺産	横須賀市自然・人文博物館 主査・学芸員(近代建築史担当) 菊地 勝広
12	2/24(水)	野外学習	横須賀の旧海軍遺産と都市文化を巡るルート解説ー横須賀製鉄所から中央・上町地区の古い商店と住宅建築群編	

※10/7(水)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
受講登録者 50名(オンライン受講者も含む) (男性 39名 女性 11名) 出席者総数 540名

まち歩き(川崎学)ワークショップ

WS 6	街角の文化遺産に学ぶー地図を読む楽しさ			※座学と野外学習
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに 7,900円 聴講生 9,000円 (資料代 200円を含みます。)			
【ワークショップ】まち歩き(川崎学) 【時間】毎回 座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)				
概要	地図は目的によっていろいろな見方ができます。読図という難しい地図の見方と思われがちですが、その用途がわかると楽しい発見があります。地図を片手に歩いてみませんか。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/14(水)	川崎市生涯学習プラザ	市域に残る村絵図などの作成された目的を知り、地図の見方や種類などを知る	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
2	10/21(水)		昔の地形図で川崎市域の風景を読む	日本地図センター客員研究員 今尾恵介
3	10/28(水)	現地	明治～昭和戦前の地形図で「大師河原村」を歩く	
4	11/18(水)	川崎市生涯学習プラザ	村絵図を読み解く 下菅生村絵図	神奈川県立歴史博物館 非常勤学芸員 根本 佐智子
5	11/25(水)	現地	下菅生村・天眞寺新田を歩く	
6	12/9(水)	川崎市生涯学習プラザ	水争い 小向村・下平間村訴訟	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
7	12/16(水)	現地	下平間と小向の村境を歩く	

※地図に記載された文字や記号を読むために、ルーペ(拡大鏡)必要。
※10/14(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施
受講登録者(オンライン受講者も含む)29名(男性18名 女性11名)出席者総数173名

政治・社会講座

講座 17	少子高齢化の政治・社会学～コロナ時代を踏まえて			オンライン併用
	【定員】71名 【受講料】2年会員 9,250円 1年会員 10,350円 聴講生 13,650円 (資料代 450円を含みます。)			
政治・社会 【時間】毎回 15時00分～16時30分(計12回)				
概要	急速に進む少子高齢化社会に対して、私たちはどのように対応すべきでしょうか。重要なのは変化しつつある家族のありかたを踏まえた上で、雇用や教育、社会保障などとの関係を探ることです。具体的なテーマや川崎市における調査結果にも触れつつ、少子高齢化問題を幅広く考えていきます。コロナ時代における社会的状況の変化を踏まえて、議論していきたいと思えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(水)	川崎市生涯学習プラザ	基礎的データから考える少子高齢化	国立社会保障・人口問題研究所室長 西村幸満
2	10/14(水)		コロナ時代の人口問題	東京大学教授 宇野重規
3	10/21(水)		外国人労働者受け入れと自治体の役割ー外国人・社会的包摂から考える	静岡大学教授 横濱竜也
4	10/28(水)		少子高齢化時代の民主政治	東京大学教授 宇野重規
5	11/4(水)		仕事・家族・教育から考える少子高齢化	東京大学教授 本田由紀
6	11/11(水)		少子高齢化とくさくさの未来ー家族の多様化との関連で	慶應義塾大学名誉教授 渡辺秀樹
7	11/18(水)		「8050問題」をめぐる	愛知教育大学准教授 川北 稔
8	11/25(水)		少子高齢化と社会保障	明治学院大学教授 武川正吾
9	12/2(水)		人生100年時代を生きるための学び -ポスト・コロナとAIそして人生100年時代(1)	東京大学教授 牧野 篤
10	12/9(水)		人生100年時代を生きるための学び -ポスト・コロナとAIそして人生100年時代(2)	
11	12/16(水)		少子化は解決できるか	東京大学教授 赤川 学
12	1/20(水)		人口減少時代の地域包括ケア:川崎の場合	

受講登録者(オンライン受講者も含む)38名(男性24名 女性14名)出席者総数382名

*WS7 政治・社会ワークショップは休止

交流館協力(歴史)講座

講座 18	江戸時代の道と旅			
	【定員】60名 【受講料】2年会員 4,400円 1年会員 4,950円 聴講生 6,600円 (資料代は実費徴収)			
交流館協力(歴史) 【時間】毎回 14時00分～15時30分(計6回)				
概要	寺社参詣を中心とした旅は近世以前から盛んに行われていたようです。しかし近世に入ると街道や交通集落も整備され、社寺参詣や行楽的な旅はより一層盛んになりました。本講座では、近世の街道、街道文化、近世の旅の魅力に触れ、現代日本人旅行の源流を探ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	11/4(水)	東海道 かわさき宿 交流館	海道・街道そして道の名称	交通史学会会長 山本光正
2	12/2(水)		街道文化ー東海道の創造力	
3			中止	
4				
5				
6				

受講登録者42名(男性26名 女性16名)出席者総数73名

音楽Ⅲ講座

講座	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part28			
19	【定員】150名	【受講料】2年会員 13,200円	1年会員 14,300円	聴講生 17,600円
概要	音楽Ⅲ【時間】14時20分～16時00分(計11回) 川崎市フランチイズオーケストラの「東京交響楽団」による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラムをお話を交えて演奏します。ソロからアンサンブルまで編成も幅広く、ヴァイオリン・チェロ・オーボエ・トランペットなど様々な楽器の奥深さを知って頂けます。東京交響楽団の楽団員と共に、いろいろな音楽を学び、音を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/28(水)	川崎市産業振興会館ホール	オーケストラの楽器①トランペット	佐藤友紀(東京交響楽団首席トランペット奏者)、石田望(ピアノ)
2	11/4(水)		オーケストラの楽器②コントラバス	安田 修平(東京交響楽団コントラバス奏者)、土屋 杏子(東京交響楽団ヴァイオリン奏者)、米山 多佳子(ピアノ奏者)
3	11/11(水)		オーケストラの楽器③ フレデリック・ショパンのピアノ	大室 晃子(ピアノ奏者)
4	11/18(水)	高津市民館ホール	オーケストラの楽器④オーボエ	荒木 奏美(東京交響楽団首席オーボエ奏者) リード 希亜奈(ピアノ奏者)
5	11/25(水)		オーケストラの楽器⑤ヴァイオリンデュオ	森岡 ゆりあ(東京交響楽団第1ヴァイオリン奏者) 竹田 詩織(東京交響楽団第2ヴァイオリン奏者)
6	1/27(水)		オーケストラの楽器⑥クラリネット	吉野 亜希菜(東京交響楽団首席クラリネット奏者) 仲地 朋子(ピアノ奏者)
7	2/24(水)		オーケストラの楽器⑦オペラの楽しみ	山口 和江(ソプラノ歌手)、門倉 光太郎(バリトン歌手) 中 優子(ピアノ奏者)
8	3/3(水)		オーケストラの楽器⑧ヴァイオリン	福留 史紘(東京交響楽団第2ヴァイオリンフォルテピラー) 高尾 郁江(ピアノ奏者)
9	3/17(水)		オーケストラの楽器⑨弦楽四重奏	ピュシス弦楽四重奏団 植村理葉(ヴァイオリンリスト) 小林玉紀(NHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者) 武生直子(東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者) 渡邊辰紀(東京フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者)
10	3/24(水)		オーケストラの楽器⑩トロンボーンたち	大馬直人(東京交響楽団首席トロンボーン奏者)、大馬葉月(ピアノ奏者)、 中田理奈(ヴァイオリン奏者)、中田英一郎(群馬交響楽団チェロ奏者)
11	3/31(水)		オーケストラの楽器⑪ホルンとヴァイオリン	大野雄太(東京交響楽団首席ホルン奏者)、 中村楓子(ヴァイオリン奏者)、川瀬 由紀子(ピアノ奏者)

受講登録者 129名 (男性 61名 女性 68名) 出席者総数 1,195名

芸術ワークショップ

WS	油絵を描く一技法を基本から学ぶ ※実技が中心。第1回前半のみ講義			
8	【定員】25名	【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 22,200円 (静物画モチーフ、人物画モデル代として3,500円を含みます。)	【ワークショップ】芸術 【時間】毎回18時00分～20時30分(計10回)	
概要	初心者から経験者も含めて、絵の具や溶き油など、絵画材料について理解しながら、1回ごとの描画プロセスを積み重ねて描き進めていきます。みずからの感覚をとおして観察し描いていくことで、創造の楽しさを発見します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(水)	川崎市生涯学習プラザ	絵画材料と用具の説明。木炭素描から始まる描画プロセス。(パワーポイント使用) 1 制作の開始 キャンバスに木炭素描と定着。構図を決定する。	NHK文化センター講師 佐藤道子
2	10/14(水)		2 イエローオーカーなどの土性絵具による下層描き。単色での大まかな明暗をつける。	
3	10/21(水)		3 有彩色絵具による彩色。積極的に絵具を塗り、色彩の観察と調和を試みる。	
4	10/28(水)		1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現(キアロスクーロ)	
5	11/11(水)		2 明部を白色絵具と有彩色絵具で厚塗りし、立体感や空間感を出す。	
6	11/18(水)		3 これまでの下層描きに積極的に油絵具を重ね、大きな見方で対象に迫る。	
7	11/25(水)		1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現(キアロスクーロ)	
8	12/2(水)		2 明部を白色絵具と有彩色絵具で厚塗りし、立体感や空間感を表現する。	
9	12/9(水)		3 これまでの下層描きに積極的に油絵具を重ね、大きな見方で対象に迫る。	
10	12/23(水)		講評会	

受講登録者 16名 (男性 7名 女性 9名) 出席者総数 154名

環境とみどり講座

講座	SDGs時代の環境・みどり・防災			
20	【定員】35名	【受講料】2年会員 9,650円	1年会員 10,750円	聴講生 14,050円 (資料代 850円を含みます。)
概要	環境とみどり 【時間】毎回 10時15分～12時00分(計12回) 近年、地球温暖化や生物多様性の喪失がますます進行中、大災害も頻発しています。一方で持続可能な社会の構築に向けて SDGs に沿う方法が模索されています。SDGs にはパンデミックへの対応も織り込まれていました。私たち自身はこのような時代にどのようにして住みよい社会を創り出していけば良いのか。この講座では SDGs における議論を参考にしつつ、みどりの課題を中心に、環境学や防災学に関する最新の知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(木)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介/新型コロナの話	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/8(木)		みどりの景観の価値と保全	東京大学准教授 山本清龍
3	10/15(木)		日本林業の未来	速水林業代表 速水 亨
4	10/22(木)		植物生態と生物多様性	東京農業大学名誉教授 中村幸人
5	10/29(木)		激甚化する水害とダム果たす役割	水源環境センター理事長 森北佳昭
6	11/5(木)		平安時代における治山事業の変遷	東京大学名誉教授 太田猛彦
7	11/12(木)		伊勢湾台風被害後に名古屋市が進めてきた防災策	東京大学教授 蔵治 光一郎
8	11/19(木)		日本農業の担い手としての家族経営と法人経営—農業の法人化の到達点	東京大学名誉教授 谷口信和
9	12/3(木)		都市の緑が持つ力	東京大学工学系研究科助教 山崎高拓
10	12/10(木)		パリ協定と日本のエネルギー政策(オンライン講義)	東京大学教授 高村 ゆかり
11	12/17(木)		気候変動時代における湿地の保全と活用(オンライン講義)	国立環境研究所主任研究員 西広 淳
12	1/21(木)		後期の取りまとめ	東京大学名誉教授 太田 猛彦

受講登録者(オンライン受講者も含む) 52名 (男性 35名 女性 17名) 出席者総数 570名

環境とみどりワークショップ

WS	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ ※野外学習あり			
9	【定員】35名	【受講料】2年・1年会員ともに 7,200円	聴講生 8,300円(資料代 500円、野外学習安全費用 100円を含みます。)	【ワークショップ】環境とみどり 【時間】毎回13時15分～15時15分(計8回) ただし、第2回及び第8回は16時頃終了となることがあります。
概要	わたしたちの身近な、川崎市やその周辺地域で、また日常生活の中から、様々なテーマで持続可能な社会と環境を学習していくワークショップです。今回は、自然に関する様々な課題を中心に、川崎市の環境基本計画の改定や川崎の鉄道をテーマとして取り上げました。これらの多彩な内容を受講者が協力して準備しました。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(木)	川崎市生涯学習プラザ	『森林飽和』その後—改めて森の量が量られた	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/15(木)		南武線と臨海部の鉄道の歴史	法政大学兼任講師、産業考古学会理事 中川 洋
3	10/29(木)		日本の自然保護運動の歩み	日本自然保護協会元理事 水野憲一
4	11/5(木)	鶴見川流域	★ 鶴見川中流域で帰化植物の観察	多摩丘陵舎 北川淑子
5	11/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	日本の巨樹	全国巨樹・巨木林の会事務局長 松島 昇
6	11/19(木)		トンボの生態と水辺環境の関係を診る	日本トンボ学会総務幹事 松沢孝晋
7	11/26(木)		川崎市環境基本計画改定	川崎市環境局環境調整課 課長補佐 中島美穂
8	1/21(木)		ワークショップのまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦

★は野外学習。

受講登録者(オンライン受講者も含む) 22名 (男性 15名 女性 7名) 出席者総数 154名

人間学講座

講座 21	人間学再論—生老病死の思想			オンライン併用
	【定員】71名 【受講料】 2年会員 8,800円 1年会員 9,900円 聴講生 13,200円 (資料代は実費徴収)			
	人間学 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	われわれは、なにを願ひ、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのだろうか。このような問いを、あらためて生老病死の思想という視点からそれぞれの分野の講師にじっくり語ってもらいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/1(木)	川崎市生涯学習プラザ	やまと言葉で哲学する① なつかしい、いとおい、がまん、他	東京大学名誉教授 竹内整一
2	10/8(木)		やまと言葉で哲学する② いさぎよい、どうせ、ゆめ、たおやか、他	
3	10/22(木)		日本の民衆思想における生と死①	哲学者 内山 節
4	10/29(木)		日本の民衆思想における生と死②	
5	11/12(木)		脳と心—生と死の科学	科学ジャーナリスト 林 勝彦
6	11/26(木)		災害の中で生きる—自然の他者性と向き合う(オンライン講義)	星槎大学副学長 鬼頭秀一
7	12/3(木)		東京を哲学する(オンライン講義)	東京大学教授 吉見俊哉
8	12/17(木)		医療者と病者の隔たり(オンライン講義)	東京大学付属病院特任講師 網谷英介
9	1/14(木)		大人になるためのリベラルアーツ—成熟した市民になるために	東京大学教授 藤垣裕子
10	1/28(木)		四苦八苦—車谷長吉の文学世界(オンライン講義)	東北大学名誉教授 野家啓一
11	2/4(木)		親子成り—支えられ認められて成長する	成城大学名誉教授 田中宣一
12	2/18(木)		古代オリエントの墓制と死生観	上智大学教授 月本昭男

受講登録者(オンライン受講者も含む) 59名 (男性 30名 女性 29名) 出席者総数 611名

人間学ワークショップ

WS 10	『平家物語』の人間像 (後期)			※講義の後に討論あり	オンライン併用
	【定員】30名 【受講料】 2年・1年会員ともに 13,200円 聴講生 14,300円 (資料代は実費徴収)				
	【ワークショップ】 人間学 【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)				
概要	『祇園精舎の鐘の音、諸行無常の響あり』で始まる『平家物語』は、平家一門の全盛から滅亡まで、多彩な人間像の葛藤と運命の物語を律動感あふれる文体で描いた古典の傑作です。1年をかけて全巻を丁寧に読み味わいます(今回は7巻から最後まで)。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/1(木)	川崎市生涯学習プラザ	巻7 火打合戦、願書、倶利伽羅落、篠原合戦など	東京大学名誉教授 竹内整一	
2	10/8(木)		巻7 主上都落、惟盛都落、一門都落など		
3	10/22(木)		巻8 山門御幸、名虎、緒環、太宰府落など		
4	10/29(木)		巻8 瀬尾最後、鼓判官、法住寺合戦など		
5	11/12(木)		巻9 宇治川先陣、河原合戦、木曾最期など		
6	11/26(木)		巻9 敦盛最期、知章最期、小宰相身投など		
7	12/3(木)		巻10 千手前、横笛、高野巻、惟盛出家など		
8	12/17(木)		巻10 三日平氏、藤戸、大嘗会之沙汰		
9	1/14(木)		巻11 志度合戦、鶏合、壇浦合戦など		
10	1/28(木)		巻11 腰越、大臣殿被斬、重衡被斬など		
11	2/4(木)		巻12 判官都落、吉田大納言沙汰、六代被斬など		
12	2/18(木)		巻12 灌頂の巻など		

* 今期のWSは平家物語第一巻から六巻まで読んでいる事を前提に開講。

受講登録者(オンライン受講者も含む) 28名 (男性 15名 女性 13名) 出席者総数 314名

音楽I講座

講座 22	モーツァルトとベートーヴェン 2020年			
	【定員】200名 【受講料】 2年会員 9,650円 1年会員 10,750円 聴講生 14,050円 (資料代 350円を含みます。)			
	音楽I 【時間】 毎回 10時40分～12時10分 (計12回)			
概要	今年の<ベートーヴェン生誕 250年>記念としてこのテーマを選びました。モーツァルトとベートーヴェンの関係はまこと多岐にわたっています。その関係は時代によっても変化しており、今回は<ベートーヴェン・イヤール>を祝うもので、両者の関係について新しい観点を展開いたします。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(木)	新百合21ビル B2多目的ホール	プロローグ: モーツァルトとベートーヴェンは出会う	日本モーツァルト研究所 所長 海老澤 敏
2	10/15(木)		モーツァルトとベートーヴェンが1787年にウィーンで会ったのは2世紀もの伝承である	
3	10/22(木)		1787年のモーツァルトは?	
4	10/29(木)		『レーゲンスブルク日誌』発見とその余響—ベートーヴェンの1787年旅行の虚実—	
5	11/12(木)		1787年モーツァルトのプラハ旅行、そして父レーオポルトの死前後	
6	11/19(木)		1787年4月を中心としたウィーンの楽壇事情	
7	11/26(木)		1787年以降のモーツァルト—ヨーゼフⅡ世の死とレーオポルトⅡ世の即位—	
8	12/3(木)		1790年以降のウィーンの楽壇事情	
9	12/17(木)		音楽評論家 丹羽正明氏との対談 **1	
10	3/11(木)		中止	
11	3/18(木)			
12	3/25(木)			

*1-有料公開対談。参加費として500円集金。第12回は講師の体調不良により、ビデオ録画講義に変更。

受講登録者 89名 (男性 53名 女性 36名) 出席者総数 712名

音楽II講座

講座 23	フランス革命期を生きたベートーヴェン			
	【定員】200名 【受講料】 2年会員 8,950円 1年会員 10,050円 聴講生 13,350円 (資料代 150円を含みます。)			
	音楽II 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要	ベートーヴェン(1770～1827)のメモリアル・イヤールは半世紀毎にいつも連続してやってきます。1970年と77年がそうであったように、生誕250年の2020年の次には没後200年の2027年が控えていて、今、世界のベートーヴェン研究最前線は活況にあります。今回は今まで陽の目を見なかつたボン時代の作品に光をあてたいと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/13(火)	新百合21ビル B2多目的ホール	プロローグ: ケルン選帝侯領ボン音楽文化とベートーヴェン家の定住	元慶應義塾大学教授 音楽評論家 平野 昭
2	10/20(火)		師 Chr. G. ネーフェの許での作曲学習とその成果	
3	10/27(火)		フランス革命の勃発とボン大学学生ベートーヴェンとボン読書協会	
4	11/17(火)		二つの皇帝カンタータ: ヨーゼフ・カンタータとレオポルト・カンタータ	
5	11/24(火)		1792年: J.ハイドンとの出会いとウィーン留学(帰国せず)	
6	12/1(火)		1793年以降: K.リヒノスキー侯爵邸サロン金曜コンサート	
7	12/15(火)		1795年3月、ピアニスト作曲家ベートーヴェンのデビュー	
8	1/12(火)		1796年前半: プラハ→ドレスデン→ライプツィヒ→ベルリン大旅行	
9	1/19(火)		《3つのピアノ三重奏曲》作品1と《3つのピアノ・ソナタ》作品2	
10	2/2(火)		1790年代後半以降: 音楽愛好貴族界との交流	
11	2/9(火)		1800年: 初めての弦楽四重奏曲: 6曲セットの作品18	
12	2/16(火)		1800年: 交響曲第1番: ピアニストから作曲家へ	

受講登録者 72名 (男性 34名 女性 38名) 出席者総数 702名

音楽・芸能ワークショップ

WS 11	13代目團十郎誕生—團十郎から観る歌舞伎史				オンライン併用	
	【定員】50名 【受講料】2年・1年会員13,500円 聴講生14,600円 (資料代300円を含みます。)					
	【ワークショップ】音楽・芸能 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)					
概要	2020年4月、團十郎の名跡が7年ぶりに13代目として復活するはずでした。が、コロナ禍のため残念なことに延期となりました。團十郎代々は江戸人にとりアイドルでした。「大江戸階市(一)川家」「江戸の飾り海老」「親玉」などの尊称で呼ばれる特別な存在です。何故團十郎は別格な家柄となったのでしょうか。人々が代々の團十郎に敬慕の視線をまた熱狂の声援を送ったのは、どのような歴史的、文化的背景があったのでしょうか。今回は歴代團十郎から観た歌舞伎史概観を講義主題にしました					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	10/8(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	市川團十郎と舞踊(1)	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ	樹木医 石井誠治	
2	10/15(木)		團十郎の荒事芸	歌舞伎研究家 大倉直人		
3	10/22(木)		江戸の男伊達—助六	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ		
4	10/29(木)		5代目團十郎と天明江戸歌舞伎	武蔵野大学講師 鶴飼伴子		
5	11/12(木)		歌舞伎界のいま、新・團十郎誕生の意味	演劇評論家 犬丸 治		
6	11/19(木)		7代目團十郎と鶴屋南北	武蔵野大学講師 鶴飼伴子		
7	11/26(木)		市川團十郎と舞踊(2)	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ		
8	12/3(木)		猿若町時代—8代目團十郎	武蔵野大学講師 鶴飼伴子		
9	12/17(木)		9代目團十郎と明治の時代	明治大学教授 神山 彰		
10	1/21(木)		11代目團十郎と戦後の時代			
11	1/28(木)		荒事芸のさまたま—雷神不動北山桜	常磐津 和英大夫(鈴木英一)		横濱国立大学准教授 倉田薫子
12	2/4(木)		文楽への誘い	武蔵野美術大学講師 小島智章		

受講登録者42名 (男性7名 女性35名) 出席者総数398名

*講座24宮前(歴史)は休止

世界史講座

講座 25	中央ユーラシアの歴史(第1部)				オンライン併用
	【定員】71名 【受講料】2年会員9,550円 1年会員10,650円 聴講生13,950円 (資料代750円を含みます。)				
	世界史 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要	広大無辺の中央ユーラシアは、古代の匈奴や突厥、そしてモンゴル帝国と、遊牧騎馬民の国家が興亡を繰り返す、オアシスの民がシルクロードを通して東西の通商と文化の交流に活躍した舞台である。最新の研究成果に基づいて中央ユーラシアの動態に富んだ歴史をたどりながら、世界史の展開を新たな視点から見直してみよう。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/9(金)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション—中央ユーラシア史の眺望	東京大学名誉教授 小松久男	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
2	10/16(金)		スキタイと匈奴—古代の騎馬遊牧民	創価大学名誉教授 林 俊雄	
3	10/23(金)		突厥とウイグル—テュルク遊牧国家の覇権	中央大学名誉教授 梅村 坦	
4	10/30(金)		オアシスとシルクロード—朝貢貿易の構造		
5	11/6(金)		オアシス農村社会の実像—古文書の分析から	学習院大学講師 福島 恵	
6	11/13(金)		ソグド人の雄飛—商人・外交官・軍人	東京大学名誉教授 小松久男	
7	11/20(金)		テュルク化とイスラーム化の進展	内モンゴル大学モンゴル歴史学系 特聘研究員(教授) 赤坂恒明	
8	11/27(金)		モンゴル帝国の成立—中央ユーラシアの統合		
9	12/4(金)		世界史におけるモンゴル帝国	東洋文庫研究員 濱本真実	
10	12/11(金)		モンゴル帝国とロシア—もう一つのロシア史		
11	12/18(金)		ティムール朝の興亡—テュルクとイラン	東京外国語大学特任講師 木村 暁	
12	1/22(金)		英雄叙事詩—遊牧民の記憶と文化	和光大学教授 坂井弘紀	

受講登録者113名 (男性81名 女性32名) 出席者総数1,223名

みどり学Ⅱ講座

講座 26	みどり学Ⅱ—木や草が生活とつながる面白さを極める				オンライン併用
	【定員】70名【受講料】2年会員9,900円 1年会員11,000円 聴講生14,300円 (資料代200円、野外学習安全費用900円を含む)				
	みどり学Ⅱ 【時間】講義:10時30分～12時00分、野外:10時30分～14時30分、ただし11/13はA班10時～11時30分、B班13時～14時30分(計12回)				
概要	みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1	10/2(金)	川崎市生涯学習プラザ	ヒョルド北・南、ノルウェーとニュージーランドのみどり学	A・B班実施	樹木医 石井誠治
2,3	10/9(金) 10/16(金)	目黒自然教育園	江戸の自然を今に残す白金台の宝箱散策	B班実施・A班休み A班実施・B班休み	
4,5	10/23(金) 10/30(金)	玉川上水	江戸100万人の飲み水、玉川上水と井の頭湧水	B班実施・A班休み A班実施・B班休み	
6	11/6(金)	川崎市生涯学習プラザ	色と香りは植物の戦略	A・B班実施	
7	11/13(金)	田園調布から多摩川台公園	多摩川下流部に祭られた豪族たちの御霊に合掌	A班午前・B班午後実施	樹木医 石井誠治
8	11/20(金)	川崎市生涯学習プラザ	これからの野生動物との付き合い方	A・B班実施	元麻布大学教授 高槻成紀
9,10	11/27(金) 12/4(金)	東高根森林公園	二ヶ領用水と緑化センター、東高根森林公園めぐり	A班実施・B班休み B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
11	12/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	ガラパゴスの生物の進化と保全	A・B班実施	横濱国立大学准教授 倉田薫子
12	12/18(金)	川崎市生涯学習プラザ	ミクロの世界から見る植物と菌類	A・B班実施	東京農業大学教授 矢口行雄

*本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講。

*10/2(金)10時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者53名 (男性19名 女性34名) 出席者総数415名

山の自然学講座

講座 27	山の自然学				
	【定員】30名 【受講料】2年会員9,750円 1年会員10,850円 聴講生14,150円 (資料代200円、野外学習安全費用750円を含む。)				
	山の自然学 【時間】講義:13時00分～14時30分 野外:10時30分～14時30分予定(計12回)				
概要	地生態学の考え方をベースにして各地の自然の成り立ちを紹介するほか、実際に3カ所現地に出かけ、地質・地形と生き物の分布との関わりを探る。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/2(金)	川崎市生涯学習プラザ	ヨーロッパアルプスの地生態学1	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
2	11/6(金)	川崎市生涯学習プラザ	ヨーロッパアルプスの地生態学2		
3	11/13(金)		ヨーロッパアルプスの地生態学3		
4	11/20(金)		中部地方の地生態学1(佐渡島)		
5,6	12/4(金)	東京都東村山市	東村山と狭山丘陵		
7	12/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学2(糸井川ジオパーク)		
8	12/18(金)		中部地方の地生態学3		
9,10	1/8(金)	東京都西多摩郡奥多摩町	鳩ノ巣渓谷と越沢バットレス		
11,12	1/22(金)	武蔵小金井	国立天文台間の国分寺崖線を歩く		

*本講座は、長年みどり学を受講した方に向けた内容。

*野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。*10/2(金)の12時30分より30分程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者32名 (男性11名 女性21名) 出席者総数239名

美術Ⅱ講座

講座 28	バロック時代の美術 (オンライン講義)			オンライン併用
	【定員】200名 【受講料】2年会員 8,800円 1年会員 9,900円 聴講生 13,200円 (資料代を実費徴収いたします。)			
概要	美術Ⅱ 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回) バロック時代 (=17世紀) のヨーロッパ美術を、注文者・受容者——教会 (カトリック、プロテスタント)、宮廷、市民——との関係という観点で再考し、多様なジャンルの成立と発展にも注目する。併せて、時代を代表する画家ルーベンスの活動を手掛かりに、個々の事象の理解を深め、全体を関連付ける。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	はじめに:「バロック美術」の定義と講義の進め方	学習院大学名誉教授 高橋裕子
2	10/16(金)		宗教改革と美術:教会用美術の否定と、新しいジャンル(画種)の誕生	
3	10/23(金)		対抗宗教改革と美術:カラヴァッジョ、ルーベンス、ベルニーニ	
4	10/30(金)		プロテスタントの「宗教画」:レンブラント、ヨルダネス	
5	11/13(金)		宮廷のための美術Ⅰ:ルーベンス「マリー・ド・メデシス連作」	
6	11/20(金)		宮廷のための美術Ⅱ:「宮廷画家」の仕事(ヴァン・ダイク、ペラスケス)	
7	11/27(金)		教養人のための美術:歴史画と寓意画(ルーベンス、プッサン、クロード・ロラン)	
8	12/4(金)		市民のための美術Ⅰ:肖像画(フランス・ハルス、レンブラント)	
9	12/18(金)		市民のための美術Ⅱ:風俗画(フェルメールを中心に)	
10	1/22(金)		市民のための美術Ⅲ:風景画(ルーベンス、ライスター、ホッバマ)	
11	1/29(金)		市民のための美術Ⅳ:静物画(ヤン・ブリューゲル、カルス、スルバラン)	
12	2/5(金)		おわりに——バロック美術とその後	

使用テキスト:『西洋絵画の歴史2 バロック・ロココの革新』、高階秀爾 監修、高橋裕子 著、小学館 2016年、ISBN 978-4-09-823027-3、1,200円+税 受講登録者 130名 (男性 40名 女性 90名) 出席者総数 1,332名

美術ワークショップ

WS 12	バロック美術の特色とその歴史的意義 (第10回目よりオンライン講義)			
	【定員】45名 【受講料】2年・1年会員 13,200円 聴講生 14,300円 (資料代を実費徴収いたします。)			
概要	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】 毎回 14時45分～16時45分 (計12回) 「バロック」と総称されるヨーロッパの17世紀美術の歴史的意義を、絵画を中心に考察する。最初の2回、および最終回は「バロック」という概念自体について論じるが、明快さを目指して約半数の講義はこの時代を代表する巨匠を一人ずつ取り上げて考察する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	ポツロミーニとガッリーニの建築 バロック概念の成立と変遷	青山学院大学名誉教授 高橋達史
2	10/16(金)		バロックとルネサンス ヴェルブリンの定義をめぐる諸問題	
3	10/23(金)		ルネサンス絵画とバロック絵画の様式比較(続)、カラヴァッジョとその国際的影響	
4	10/30(金)		カラヴァッジョ(続)、ベルニーニ バロックの彫刻と建築とその変遷	
5	11/13(金)		リュベンス バロック絵画の特色の再考察	
6	11/20(金)		スペイン絵画の「黄金時代の世紀」	
7	11/27(金)		ハルスとレンブラントの肖像画	
8	12/4(金)		レンブラントの物語画	
9	12/18(金)		静物画の世界 「ものの価値」をめぐって	
10	1/22(金)		風景画の勃興 母国と異郷	
11	1/29(金)		17世紀オランダ風俗画の特質	
12	2/5(金)		(前半)テル・ボルフとフェルメール (後半)後期バロックとロココ	

受講登録者 37名 (男性 10名 女性 27名) 出席者総数 409名

エクセレントⅡ講座

講座 29	日本の食文化の特色とその魅力—「和食」の形成と展開			オンライン併用	
	【定員】200名 【受講料】2年会員 9,550円 1年会員 10,650円 聴講生 13,950円 (資料代 750円を含みます。)				
概要	I/II 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回) 2013年に「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化財(世界遺産)に登録されました。いわゆる「和食」とは日本の誇る食文化であり、その成立は室町時代とされ、またそこに至るまでには長い歴史があったのです。その「和食」は、江戸時代に著しい展開をしたのですが、本講座ではその特色と歴史的な過程を多角的に探り、その魅力を紹介します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/9(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	和食の位置—人類の食と米文化・麦文化	京都府立大学客員教授 原田信男	
2	10/16(金)		和食の原点—先史時代の食文化と米の受容		
3	10/23(金)		和食の源流—古代の神饌料理と肉食否定		
4	10/30(金)		和食の前提—大饗料理・精進料理と中国との関係		
5	11/13(金)		和食の成立—本膳料理から懐石料理へ		
6	11/20(金)		和食の発達—江戸における料理文化の展開		
7	11/27(金)		和食の転換—日本近代の食文化(明治～大正期)		食文化史研究者・写真家 森枝卓士
8	12/4(金)		和食の基本—日本料理の技術とてなし (オンライン講義)		大和学園 京都調理師専門学校校長 仲田雅博
9	12/18(金)		和食と民俗—年中行事・人生儀礼と食文化 (オンライン講義)		女子栄養大学准教授 竹内 由紀子
10	1/22(金)		和食の北と南—食文化の地域性		京都府立大学客員教授 原田信男
11	1/29(金)		和食とともに—和菓子の歴史		東洋大学講師 青木直己
12	2/5(金)		和食の現在と課題—現代日本の食文化		京都府立大学客員教授 原田信男

受講登録者 56名 (男性 30名 女性 26名) 出席者総数 595名

経済講座

講座 30	市場経済の原点と現状			オンライン併用
	【定員】71名 【受講料】2年会員 8,800円 1年会員 9,900円 聴講生 13,200円 (資料代は実費徴収。)			
概要	経済 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回) 現代の市場経済が抱える諸問題を「自由」という観点から概観する。市場経済は人間の自由を拡大するのか、それとも制限するのか。このことは市場経済の根底を考察することに通じるだろう。現状理解に重きを置き、現状を通して市場経済の本質に迫ることが、講義の目的である。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(金)	川崎市生涯学習プラザ	新自由主義の時代～経済における自由と権力	京都大学名誉教授 間宮陽介
2	10/16(金)		モノと化する労働者	
3	10/23(金)		自由化の原点としての金融自由化	
4	10/30(金)		生活の場(都市)の自由化	
5	11/13(金)		水はだれのものか(水道と漁場)	
6	11/20(金)		自由化の中の不自由化～自由化する学校、統制される教育	
7	11/27(金)		増税と減税のからくり～企業減税と消費増税	
8	12/4(金)		アベノミクスとクワダノミクスを自由の観点から見ると	
9	12/11(金)		市場経済の図(市場)と地(生活)の関係	
10	12/18(金)		市場経済に抗した経済学者たち	
11	1/22(金)		コモンズをいかに生かす	
12	1/29(金)		社会的共通資本の考え方	

受講登録者 100名 (男性 83名 女性 17名) 出席者総数 1,030名

経済ワークショップ

WS	日本経済の再構築に向けてー人口減少経済への対応を生産性向上から考える ※討議・発表中心			
13	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員ともに 13,700円 聴講生 14,800円 (資料代500円を含む)			
概要	【ワークショップ】経済 【時間】毎回 15時00分～17時00分(計12回) 内容により18時まで延長する場合があります。			
概要	人口減少と高齢化は、このまま放置すれば経済規模の縮小と成長力の低下をもたらす。日本の経済的地位と国民生活水準の下落を引き起こす。対策として生産性の向上があげられますが、それはどのような意味なのでしょう、またいかにして実現できるのでしょうか。日本経済の再構築に向けて一緒に議論していきたいと思えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(金)	川崎市生涯学習プラザ	オリエンテーション(学習の進め方、グループ決定、自己紹介等)	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
2	10/16(金)		(A)第1章 生産性の概念と日本経済 ※(A)は連絡事項参照	
3	10/23(金)		(A)第2章 経済学における「生産性」	
4	10/30(金)		(A)第3章 生産性を向上させる要因は何か	
5	11/13(金)		(B)第1章 人口減少を直視せよ ※(B)は連絡事項参照	
6	11/20(金)		(B)第2章 資本主義をアップデートせよ	
7	11/27(金)		ブレイクタイム(話題の経済問題や疑問点についての講義)	
8	12/4(金)		(B)第3章 海外市場を目指せ	
9	12/11(金)		(B)第4章 企業規模を拡大せよ	
10	12/18(金)		(B)第5章 最低賃金を引き上げよ	
11	1/22(金)		(B)第6章 生産性を高めよ	
12	1/29(金)		総括 (B)第7章+日本の生産性向上策について討議	

*テキストは(A)「生産性とは何か」(宮川努著、ちくま新書、¥800+税)と(B)「日本人の勝負」(デービッド・アトキンソン著、東洋経済新報社、¥1500+税) *グループと担当部分は初回時に決定。グループごとにテキスト担当部分の概要発表と深掘りした内容の説明、論点の提起と討議の進行を行っていく。受講登録者 15名 (男性 14名 女性 1名) 出席者総数 163名

映像・メディア講座

講座	懐かしの名作を語るーこの人に会いたい、日本の未来を語る			
31	【定員】71名 【受講料】2年会員 9,100円 1年会員 10,200円 聴講生 13,500円 (資料代300円を含む)			
概要	映像・メディア 【時間】毎回 15時00分～16時30分 (計12回)			
概要	現在進行中のものから、歴史的な名作まで「映像とメディア」に関わるプロデューサー、ジャーナリスト、評論家が次々に登場し、語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(金)	川崎市生涯学習プラザ	名画、名優、受賞作品を語る①『文化庁芸術作品賞「あなたの声が聞きたい」を語る』。DJと共同制作した感動物語です。	ドキュメント映画「いのち」監督 元NHKプロデューサー 林 勝彦
2	10/9(金)		この人に会いたい①『英雄たちの選択』/「歴史への招待」などNHK歴史番組を制作してきた現役が語ります。	NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー 菊池正浩
3	10/16(金)		この人に会いたい②『今、旬の話を語る』/I am not ABEの発言で知られ、経産省課長、内閣官房審議官を歴任しています。	評論家 古賀茂明
4	10/23(金)		この人に会いたい③『美しい日本』/この本は日本の自然・文化の観光資源を研究者らと協働し客観的にランクづけしたものです。	立命館アジア太平洋大学講師、元(財)日本交通公社常務理事 林 清
5	10/30(金)		日本の未来を考える①『知事を通して見た日本』/官官接待を廃止し、原発廃棄物問題などで大活躍した橋本氏が語ります。	元NHK記者、元高知県知事 橋本 大二郎
6	11/6(金)		日本の未来を考える②『農民との提携運動を語る』/元かわさき市民アカデミー学長の和田氏は45年間、「安全な食べ物を作って、食べる会」の代表です。	世田谷市民大学学長、ロシア文学者 和田 あき子
7	11/13(金)		日本の未来を考える③『原発事故9年 告訴団長は語る』/原発事故による放射能被害にみまわれた福島県民は、現在どのように事故を捉えているのか?	福島原発告訴団代表、原発事故被害者団体連絡会共同代表 武藤類子
8	11/20(金)		名画、名優、受賞作品を語る②『是枝裕和作品「記憶が失われた時」を語る』。NHKで共同制作した受賞ドキュメンタリーです。	ドキュメント映画「いのち」監督 元NHKプロデューサー 林 勝彦
9	11/27(金)		名画、名優、受賞作品を語る③『名優 故郷木希林を語る』/女優賞を多数受賞している人気女優を語ります。	映画の語り部 元NHKBS映画支配人 渡辺俊雄
10	12/4(金)		名画、名優、受賞作品を語る④『巨匠 アンジェイ・ワイド監督を語る』。多数の国際賞、名誉賞を受賞しています。	
11	12/18(金)		この人に会いたい④『8K「からだの中の宇宙」を語る』/最先端映像を企画・制作し内閣総理大臣賞を受賞しています。	企画舎 GRIT社長、元NHK理事 新山賢治
12	1/22(金)		日本の未来を考える④『自然エネルギー後進国』/国際社会から2週間と心配されている日本の現状を語ります。(オンライン講義)	(公財)自然エネルギー財団代表理事、国連環境計画・金融イニシアチブ特別顧問 末吉 竹二郎

受講登録者 69名 (男性 49名 女性 20名) 出席者総数 680名

新しい科学の世界Ⅱ講座

講座	未知に挑んだ科学者たち			
32	【定員】35名 【受講料】2年会員 9,300円 1年会員 10,400円 聴講生 13,700円 (資料代500円を含みます。)			
概要	新しい科学の世界Ⅱ 【時間】毎回 15時00分～16時30分 (計12回)			
概要	科学の発見、技術の進歩は、どのように生まれるのだろうか。世界の見方を大きく変えていく過程には、まずは時代に支配されるほか、論争や失敗、間違え、偶然もありました。戦後75年の節目。そんなドラマを科学や技術の歴史から振り返るのが、この講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/2(金)	川崎市生涯学習プラザ	ノーベル賞、今年は? (オンライン講座)	科学技術振興機構(JST)調査役 古川雅士
2	10/9(金)		発見から記載までの長い道ーフタバズキリュウ	東京学芸大学教育学部准教授 佐藤 たまき
3	10/16(金)		日本の近代150年の科学・技術と社会 ① ー富国強兵の時代	総合研究大学院大学名誉教授 池内 了
4	10/30(金)		日本の近代150年の科学・技術と社会 ② ー高度成長からバブルの終焉まで	
5	11/6(金)		仁科芳雄博士 ー日本の物理学のパイオニア	仁科記念財団 常務理事 矢野安重
6	11/13(金)		宇宙を拓いた人々『ルキアノスから谷川俊太郎を経て』	JAXA社友 柳川孝二
7	11/27(金)		暗黒物質の存在を明らかにした女性科学者ベラ・ルービン	法政大学経済学部教授(物理学教室) 藤田真崇
8	12/4(金)		プレートテクトニクスの先達たち、なぜ地震も火山噴火も予知が難しいのか	武蔵野学院大学特任教授 島村英紀
9	12/11(金)		人類進化研究と創造論	読売新聞前ワシントン特派員 三井 誠
10	2/5(金)		温暖化懐疑論にどう立ち向かうか ー米国からの報告	
11	2/12(金)		「かみ合わせ」の科学と病気 (オンライン講義)	日本科学技術ジャーナリスト会議理事 歯内療法専門医 西野博喜
12	2/12(金)		科学者とセレニディティ (偶然の出会い)	毎日新聞論説委員、前科学環境部長 元村 有希子

受講登録者 32名 (男性 25名 女性 7名) 出席者総数 348名

歴史(川崎学)講座

講座	川崎に生きた人々Ⅰ一人々の願いを実現しようとした人たち			
33	【定員】71名 【受講料】2年会員 9,450円 1年会員 10,550円 聴講生 13,850円 (資料代550円、野外学習安全費用100円を含む)			
概要	歴史(川崎学) 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	市域は鎌倉・江戸・東京の後背地であるために歴史に名をはせる有力者が生まれ難かった。それが幸いして地域住民が様々な分野で活躍する条件が生まれた。今回は川崎市域に生きた人々に焦点を当ててみた。川崎学の入門の意味も持たせた。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(土)	川崎市生涯学習プラザ	縄文時代ー自然<豊かさ<厳しさ>と共に生きる	神奈川県立歴史博物館学芸員 千葉 毅
2	10/10(土)		先進文化を受け入れて地域を築くー古代・中世の蔵骨器を中心に	元横浜市埋蔵文化財センター調査研究員 坂本 彰
3	10/17(土)		映像で訪ねるー立花神社と影向寺をめぐる ー不動堂跡・立花神社・富士見塚・影向寺・影向石・カ石・板碑・野川神社	戦国史研究会会員 中西望介
4	10/24(土)		板碑に現れた人々の願い ー二親の極楽往生から講集の現世安穩・後生善処へ	
5	10/31(土)		民衆の願いを受け止めた修験者たち	日本山岳修験学会理事 久保康顕
6	11/7(土)		映像で訪ねるー小杉御殿・稲毛庄の故地を歩く	國學院大學栃木短期大学教授 菱沼一憲 戦国史研究会会員 中西望介
7	11/21(土)		二ヶ領用水を開削した 小泉次大夫	法政大学第二中・高等学校教育友会教育研究所 所長 大庭 乾一
8	12/5(土)		民衆と共に歩んだ民権家山田泰造	京浜歴史科学研究会会員 大湖賢一
9	12/12(土)		人々は祭りに何を願ったのか	成城大学名誉教授 田中宣一
10	12/19(土)		天下泰平を願った丸山教	法政大学第二中・高等学校教育友会教育研究所 所長 大庭 乾一
11	1/23(土)		映像で訪ねるー丸子橋を架けた安藤家と小田中の時習学校を歩く	明治大学講師 渡辺賢二
12	1/30(土)		川崎の生んだ戦後文化…廃墟から立ち直る川崎の人たち…	

初回(10/3)はコーディネーターの中西望介講師の話と事務連絡があり 受講登録者 48名 (男性 32名 女性 16名) 出席者総数 506名

短期集中101講座

101	「松本清張」で読む昭和史			オンライン併用
	【定員】200名 【受講料】2年会員 2,200円 1年会員 2,475円 聴講生 3,300円 (資料代を含みます。)			
	短期集中 【時間】毎回16時30分～18時00分 (計3回)			
概要	昭和のベストセラー作家、松本清張の代表的作品である『点と線』『砂の器』『昭和史発掘』『神々の乱心』を丁寧に読み、ポイントを解説することを通して、昭和という時代や天皇制の深層に迫ります。テキストとしては、『松本清張』で読む昭和史』(NHK出版新書)を用います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/15(木)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	『点と線』と『砂の器』の二作品から見えてくる昭和30年代という時代を検討します。	放送大学教授 原 武史
2	10/22(木)		『昭和史発掘』のなかの2・26事件に焦点を合わせつつ、清張の斬新な視点に迫ります。	
3	11/19(木)		未完に終わった遺作『神々の乱心』を読み込み、清張が最後に伝えたかったのは何かを考えます。	

*テキストの原武史著『松本清張』で読む昭和史』(NHK出版新書)

受講登録者 88名 (男性 55名 女性 33名) 出席者総数 235名

短期集中102講座

102	現代日本の官僚 (オンライン講義)			オンライン併用
	【定員】200名 【受講料】2年会員 2,300円 1年会員 2,575円 聴講生 3,400円 (資料代100円を含みます。)			
	短期集中 【時間】毎回16時30分～18時00分 (計3回)			
概要	2012年12月に第2次安倍政権が発足してから8年。この間に「官邸主導」と呼ばれる状況が定着し、「官邸官僚」が政策決定に大きな役割を担う一方、政治家への「忖度」、データや公文書の扱い等に見られる「官僚の劣化」がしばしば指摘されるようになった。本講座では日本の官僚の近年の変化について、その背景、現状、課題という側面から解説する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	1/21(木)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	「官邸主導」政治の背景-1990年代以降の政治改革・行政改革、2度の政権交代	学習院大学教授 藤田 由紀子
2	1/28(木)		「官邸主導」政治のシステム-人事制度・運用の変更、統計・公文書管理	
3	2/4(木)		日本の官僚の課題-コロナ禍における政策決定、官僚の専門性回復への処方箋	

受講登録者 50名 (男性 40名 女性 10名) 出席者総数 118名

子育て支援講座

201	0歳～6歳・子育ての輪(パートⅢ) 子どもが安心して育つ環境を見直そう			オンライン併用
	【定員】35名 【受講料】4,950円			
	子育て支援 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計6回)			
概要	情報化社会の中で、インターネットが情報の発信源になっています。子育ての文化が継承されない時代にあって、子どもと子育ての情報はネットを頼りにする親たちが増えています。情報を選び取る力が問われています。真実を知ることで護られるいのちと健康があります。共に学び力をつけていきましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	11/12(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	乳幼児をとりまく環境汚染とどう暮らす 食品添加物、化学物質、放射能など	八王子中央診療所・小児科医 所長 山田 真
2	11/26(木)		子どもの健康を考えるワクチントーク 「悩んで選んでいいんだよ」	ワクチントーク全国 事務局長 青野典子
3	12/12(土)		子どもと父親の社会学 仲間と生きるために必要なこと	首都大学東京教授 宮台真司
4	12/17(木)		子どもの成長と発達を育む集団との出会い 遊びとケンカがコミュニケーション力を育む	「りんごの木」代表 保育者 柴田愛子
5	1/23(土)		子育てはなぞとき 乳幼児のことばにならない行動には必ず意味がある	子ども相談室「モモの部屋」 心理カウンセラー 内田良子
6	1/30(土)		子どもと親を大切に「境界」 自立と共生の親子関係をつくる	白梅学園大学 子ども学部 教授 長谷川 俊雄

*この講座に限り、団体・グループでの申込み可

受講登録者 23名 (男性 3名 女性 20名) 出席者総数 110名

連携(昭和音大)

301	モーツァルトとドン・ジョヴァンニ			オンライン併用
	【定員】86名 【受講料】8,250円 (資料代を含みます。)			
	連携(昭和音大) 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計6回)			
概要	17世紀のスペインから広まったドン・ファン伝説は、文学や音楽の面で数々の名作を生み出した。モーツァルトの《ドン・ジョヴァンニ》はそうした流れを汲んで生まれた傑作です。講座ではモーツァルトが創造したドン・ジョヴァンニの面白さをさまざまな角度から学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/13(火)	昭和音楽大学 北校舎 ラ・サーラ・スカラ	「題材について」伝説、ティルソ・デ・モリーナ、モリエールなど	昭和音楽大学准教授 (イタリア語、演劇史) 森田 学
2	10/27(火)		「モーツァルト作品の成立」作品成立の過程、当時の音楽状況など	昭和音楽大学講師(音楽学) 寺本 まり子
3	11/10(火)		「作品紹介」《ドン・ジョヴァンニ》のドラマ&音楽紹介など	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑恒夫
4	11/24(火)		「指揮者の視点から」歌唱を含めた音楽の魅力など 伴奏:石井美紀	昭和音楽大学客員教授(指揮) 星出 豊
5	12/1(火)		「《ドン・ジョヴァンニ》の読み方」さまざまな演出の紹介など	昭和音楽大学講師(演出) 栗園 淳
6	12/15(火)		「《ドン・ジョヴァンニ》を演じる面白さ」(歌唱付き) ソプラノ:山口はる絵、伴奏:室井 摂	昭和音楽大学准教授(歌手) 柴山昌宣

受講登録者 69名 (男性 36名 女性 33名) 出席者総数 357名

連携(アジア航測)

302	地震による災害から命を守るには			オンライン併用
	【定員】200名 【受講料】2年会員 4,400円 1年会員 4,950円 聴講生 6,600円 (資料代を実費徴収いたします。)			
	連携(アジア航測) 【時間】毎回15時00分～16時30分 (計6回)			
概要	地震が発生した時、被害を最小限に抑えるためには、どうしたらよいのでしょうか。地震が発生した時、落ち着いて適切な行動ができるよう、日頃からいざという時の心構えが必要です。本講座では、地震発生のメカニズムから、地震に関わる災害と対策、日常の地震防災について学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/20(火)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	東日本大震災 災害の記憶と教訓を伝える	アジア航測(株)技師長 元気仙沼市危機管理課長 佐藤健一
2	10/27(火)		今後の地震防災のあるべき姿と意識改革	東京大学生産技術研究所教授 目黒公郎
3	11/10(火)		過去の地震災害から学ぶ (既往の地震災害、関東大地震)	アジア航測(株)名誉フェロー 今村遼平
4	11/17(火)		海部産業施設の地震・津波リスクと強靱化 -自然災害の激甚化への対応	アジア防災センター長 早稲田大学名誉教授 濱田政則
5	12/1(火)		地震による地盤災害を防ぐ (液状化、大規模盛土造成、かけ崩れ)	京都大学防災研究所教授 釜井俊孝
6	12/8(火) 12/15(火)		暮らしの中の地震災害防止 (日常の防災知識)	兵庫県立大学教授 阪本 真由美
補講 (会場受講生のため)	2/16(火) (第1回の会場のネット の不具合により)		最近の自然災害の動向と社会の対応	東京大学名誉教授 太田猛彦

受講登録者 47名 (男性 37名 女性 10名) 出席者総数 233名

講座一覧

No.	コース名	講座名	講師名(敬称略)
A	教育	LGBT・さまざまな性への理解と支援	共生社会をつくるセクシュアル・マイリティ支援全国ネットワーク 原 ミナ汰ほか
B	健康	最新医学・医療の現状と展望 —セカンドライフを健康に過ごすために	聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学准教授 砂川 優ほか
C	福祉	傾聴ボランティア講座	NPO 法人日本傾聴ボランティア協会事務局長 山田豊吉
D	企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その20	市内企業の代表と研究者ほか
E	生活	もっと考えたい「家族・夫婦」のこと	日本社会事業大学学長 神野直彦ほか
F	生活	シニアライフの問題解決講座 その2	認定NPO法人かわさき創造プロジェクト 松尾勝美

A		LGBT・さまざまな性への理解と支援		
概要		教育 【定員】34名 【受講料】5,300円(資料代等は実費徴収) 【時間】毎回10時00分～12時00分(計5回) いま、学校の1クラスに2～3人は、LGBT(セクシュアル・マイリティ)の人がいると言われていますが、適切な情報や正しい理解がないために子どもの頃から生きにくさを感じている人たちもいます。この講座では、LGBTについて、正しい知識を学びながら、多様性を認め合う社会を実現するために、私たちにできることを考えます。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(月)	川崎市生涯学習プラザ	さまざまな性を考えるための基礎知識 —セクシュアリティに関する用語の解説、基本的な知識を学ぶ	NPO 法人性同一性障害支援機構 理事長 中山貴将
2	10/12(月)		映画「ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき～空と木の実の9年間～」の鑑賞 —トランスジェンダー、Xジェンダー、性別違和について考える	映画監督 常井美幸 (協力) 地域上映支援センター
3	11/2(月)		学校の現場から、LGBTQを考える —子どもたちの多様性を受け止めるために、今、できること	LGBTユースの居場所・にじーず代表 遠藤 まめた
4	11/16(月)		カミングアウトから始まる関係づくり —伝える側、伝えられる側、ともに良い関係を築いていくために	NPO 法人レインボーコミュニティ coLLabo 理事 キャリアコンサルタント 渡邊美和
5	11/30(月)		多様な性のあり方をとりまく制度・支援について —LGBTQ やその家族とつながり、支えあう支援環境づくりを考える	NPO 法人共生社会をつくるセクシュアル・マイリティ支援全国ネットワーク 代表理事 原 ミナ汰 研修講師 松尾祐美

* 講座に限り、団体・グループでの受付も可能 受講登録者 13名 (男性 3名 女性 10名) 出席者総数 58名

B		最新医学・医療の現状と展望—セカンドライフを健康に過ごすために		
概要		健康 【定員】70名 【受講料】4,480円 【時間】毎回14時00分～15時30分(計5回) 最新医学・医療で明らかになってきたがんの新たな治療といわれるゲノム医療から再生医療における実用化の現状、またシニア世代で罹りやすい疾患の最新治療まで様々な領域・観点から講師が詳しく解説します。 ※リモート講座です。(聖マリアンナ医科大学等からの中継となります。受講生の方もそれぞれご自宅等でご受講いただけます。)		
回	日程	学習内容	講師名(敬称略)	
1	11/17(火)	糖尿病や生活習慣病から起こる眼の病気	聖マリアンナ医科大学 眼科学 教授 高木 均	
2	12/1(火)	高齢者のめまい —超高齢社会を快適に過ごすために	聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科学教授 肥塚 泉	
3	12/8(火)	今実用化されている再生医療とは —再生医療の現状と将来	聖マリアンナ医科大学 形成外科・再生医療学寄附講座 特任教授 井上 肇	
4	12/15(火)	老年期の「うつ」について、疾患的なものとそうでないものとの違い、症状と治療	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学 教授 古茶大樹	
5	12/22(火)	がんゲノム医療—がん診療において個別化治療はどこまでできるか?	聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学 准教授 砂川 優	

受講登録者 16名 (男性 10名 女性 6名) 出席者総数 68名

C		傾聴ボランティア講座			
概要		福祉 【定員】30名 【受講料】10,600円(資料代等を実費徴収いたします。) 【時間】毎回13時00分～17時00分(計10回) 傾聴とは、相手の話を耳を傾け、一生懸命、あるいは熱心に聴くことです。また、相手の話を一生懸命、あるいは熱心に聴くためには、相手の存在を認めるといった基本的な人への向かい合い方(態度)も必要になってきます。相手の話を否定しないで、どんなふうにも聴けるか、練習をします。「高齢者に対する傾聴ボランティア」養成講座です。			
回	月/日(曜)	時間	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(水)	13:00～15:00	川崎市生涯学習プラザ	(講義) よい聴き手になるために～傾聴の意味と意義～	NPO 法人 日本傾聴ボランティア協会 事務局長 山田豊吉
2		15:00～17:00		(演習) 初めての出会い、「傾聴モードで聴く」…話す喜び、聴く喜び	
3	10/21(水)	13:00～15:00		(ロールプレイ) 傾聴のスキル「繰り返し」「質問」「共感的な励まし」「支持」	
4		15:00～17:00		(総合練習①) 傾聴のスキルを使って、ロールプレイ実習	
5	11/4(水)	13:00～15:00		(総合練習②) 傾聴のスキルを使って、ロールプレイ実習	
6		15:00～17:00		(実践に向けて総合練習①) 「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
7	11/18(水)	13:00～15:00		(実践に向けて総合練習②) 「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
8		15:00～17:00		(講義&ロールプレイ) 認知症高齢者への関わり方及びロールプレイ実習	
9	12/2(水)	13:00～15:00		(講義) 傾聴ボランティア活動の仕方(個人宅&各種の高齢者施設等)	
10	15:00～17:00	先輩の傾聴ボランティアの方のお話—ネットワーク川崎・かわさき命の電話			

受講登録者 12名 (男性 1名 女性 11名) 出席者総数 107名

D		地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その20			
概要		企業連携 【定員】70名 【受講料】7,380円(資料代等を実費徴収) 【時間】座学 13時30分～15時00分(計8回) 川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から、世界に誇る先端技術、モノづくり、環境、まちづくり、福祉等を学び、川崎・日本の明るい未来を展望します。企業連携の講座が10周年を迎え、それを記念したプログラムとなっています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	社会的課題を解決する将来の通信技術	NTT アドバンステクノロジー(株) 代表取締役社長 木村丈治	
2	11/5(木)		夢をカタチに! ここまで来た癌・認知症等の新たな治療研究 —ナノテクノロジーで作る「体内病院」	(公財) ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) 副センター長 岩崎廣和	
3	11/19(木)		障害者差別解消法はなぜ必要なのか —共生社会の実現をめざしてアビリティーズ宣言からの足跡	NPO 法人 日本アビリティーズ協会 会長 伊東弘泰	
4	12/10(木)		産学連携「エイジングシート」の発明! —食のもう一つの旬を作り出す微生物の力	(株) ミートエポック 代表取締役 跡部 美樹雄	
5	1/21(木)		川崎から世界へ発信 —「ライスワイン・ノンアルコール・サングリア」の軌跡	天然素材蔵 代表 瀧永 聡	
6	2/25(木)		ブラックホール撮影成功 —中小企業の技術が偉業を支える	エレックス工業(株) 代表取締役 内藤岳史	
7	3/11(木)		21世紀型 CONVERGENCE(協創・共創・融合) 研究の『3種の神器』	元日本電産(株) 顧問 福永 泰	
8	3/18(木)		企業連携講座 10年の歩み —講座を企画する中でみえた川崎の底力	元川崎市経済労働局長 伊藤和良 元かわさき市民アカデミー 副理事長 眞田 強	

受講登録者 48名 (男性 41名 女性 7名) 出席者総数 300名

E もっと考えたい「家族・夫婦」のこと				
生活 【定員】 34 名 【受講料】 4,480 円 【時間】 毎回 10 時 30 分～12 時 00 分 (計 5 回) (資料代は実費徴収)				
概要	家族や夫婦についてのさまざまな固定観念や思い込みを問い直し、今の日本の状況を見据えることで新たな家族や夫婦のあり方が見えてくるかもしれません。また、映画では家族・夫婦がどのように描かれてきたかをプラザのミニシアターで堪能し、さらに悲しみを分かち合うための経済学の視点から家族・夫婦の将来像を見たいと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/16(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	この 30 年で変わったこと・変わらないこと —学校化する親子・職場化する夫婦のこれから	(株) ジャパンマニスト社 出版プロデューサー 松田博美
2	10/23(金)		家族のなかで孤立する暮らしと心を理解する ひきこもる子どもや若者たち	子ども相談室「モモの部屋」主宰 心理カウンセラー 内田良子
3	11/6(金)		家族・夫婦の問題と法律	横浜国立大学大学院教授 常岡史子
4	12/4(金)		映画が描く家族・夫婦	日本映画大学 教授 附属図書館長 高橋世織
5	12/18(金)		家族とセーフティネット～悲しみを分かち合う経済学の視点から	日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授 神野直彦

受講登録者 9 名 (男性 1 名 女性 8 名) 出席者総数 42 名

F シニアライフの問題解決講座 その 2				
生活 【定員】 34 名 【受講料】 4,480 円 (資料代は実費徴収) 【時間】 毎回 13 時 30 分～15 時 00 分 (計 5 回)				
概要	シニアライフを安心して過ごすために、シニアライフにまつわる多様な課題やその対処法を学ぶ講座です。新しい知識を生活の中に取り入れて、日々の生活をより豊かにしていくヒントを学びます。新たな生き方が見えてくるかもしれません。初めての方も安心して受講できます。 (一財)健康・生きがい開発財団の協力によって開講しています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	1/20(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	今どきの生活術 —キャッシュレス、AI など、先端技術の中で上手に賢く暮らす。	認定 NPO 法人かわさき創造プロジェクト 松尾勝美
2	1/27(水)		家族や周りの人と、より良い関係をつくる。周りの人の SOS に気づくために、人の話を肯定的に聴く。後半は肯定的聴き方を体験していただけます。	社会福祉法人川崎いのちの電話 研修担当者 山田 美和子 戸田忠澄 塙 まゆみ
3	2/10(水)		体と心の健康 (座学とエクササイズ) —体の健康は、心の健康をつくる。「脳を健康にする運動」について座学で学んだあと、日々の生活の中で実践できるエクササイズを実習。	健康生きがいづくりアドバイザー アテネオリンピック・トリノオリンピック・全日本の コンディショニングトレーナー 江口典秀
4	2/17(水)		お金の管理術 —公的制度 (医療・介護・年金) をうまく使って、身の回りを整理し、身軽になることで、より活動的な生活を送る。	社会保険労務士 山本恵子
5	2/24(水)		人生 100 年時代をもっと元気に～ポジティブ心理学に学ぶ。	昭和女子大学名誉教授 古川真人

受講登録者 26 名 (男性 11 名 女性 15 名) 出席者総数 108 名